





## Facilities and Campus Map

## 20 施設及び配置図

## 1 土地

●総面積 95,558㎡ ●寄宿舎敷地 9,752㎡ ●校舎敷地 44,916㎡ ●屋外運動場 40,890㎡

## 2 建物

## 校舎及び付属建物

名称	構造	延面積(m <sup>2</sup> )	名称	構造	延面積(m <sup>2</sup> )	名称	構造	延面積(m <sup>2</sup> )
管理・教養教育科棟 ①	R3	4,302	福 利 施 設 ⑪	R2	985	ボ ン プ 室	B1	7
講 義 棟 ②	R4	1,573	第 一 体 育 館 ⑬	S1	1,198	薬 品 室	R1・B1	51
電気情報工学科棟 ③	R3	1,899	第 二 体 育 館 ⑭	S1	883	ガ ス ボ ン ベ 室	B1	13
物質工学科棟 ④	R3	2,253	武 道 場 ⑮	S1	395	学 生 集 会 所	W1・B1	340
建築学科棟 ⑤	R3	1,373	流 体 実 験 室	S1	80	屋 外 便 所	B1	10
機械工学科棟 ⑥	R3	1,853	高 電 圧 実 験 室	R1	101	シ ャ ワ ー 室	B1	7
電子制御工学科棟 ⑦	R3	2,243	プ ール 付 属 室	B1	60	運 動 部 更 衣 室	B1	77
専 攻 科 棟 ⑧	R3・S3	1,234	守 衛 所	R1	16	材 料 倉 庫	S1・B1	52
ものづくりセンター ⑨	S1	760	車 庫	R1	71	排 水 処 理 機 械 室	R1	23
図書館情報センター ⑩ ( 図 書 館 )	R2	1,585	バ ス 車 庫	R1	60	普 通 教 室	R3	687
( 情 報 教 育 施 設 )	R1	484	ボ イ ラ ー 室	R1	177	器 具 庫	S1	19
			物 品 倉 庫	R1	102	計		24,973

## 校舎及び付属建物

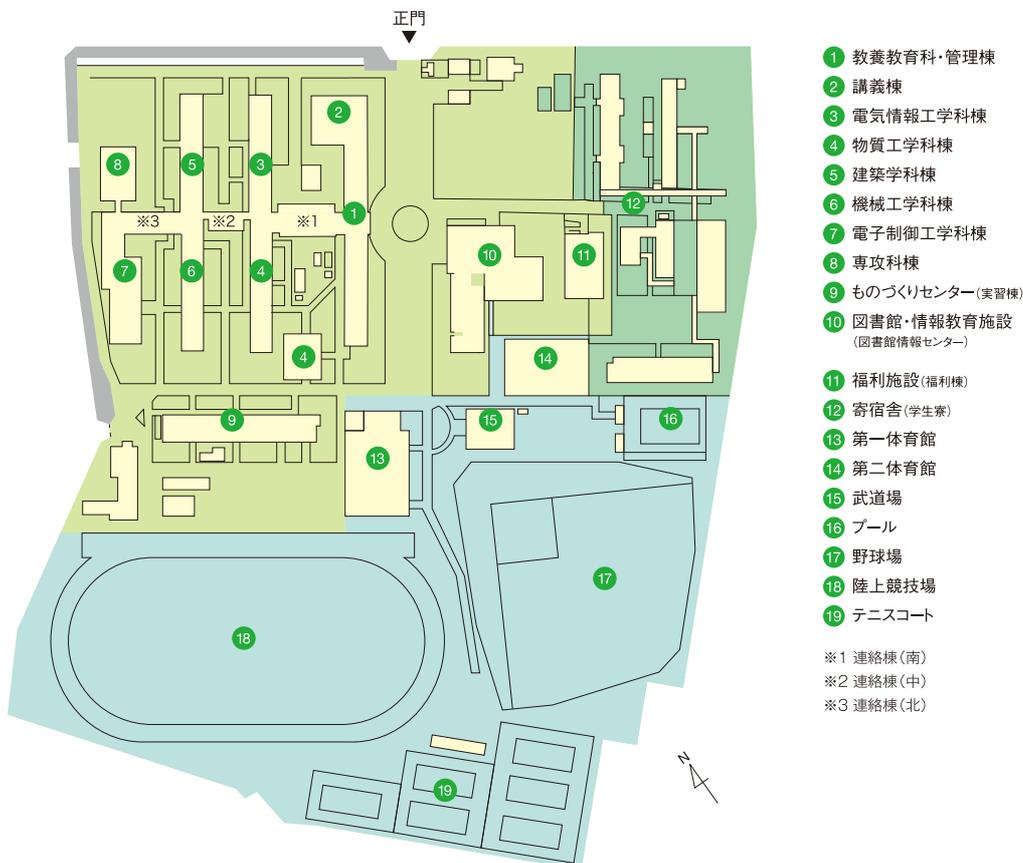
名称	構造	延面積(m <sup>2</sup> )	名称	構造	延面積(m <sup>2</sup> )	名称	構造	延面積(m <sup>2</sup> )
学生寮管理棟	R1	149	女 子 寮 ( B )	R3	913	渡 り 廊 下	S1	400
男 子 寮 ( 西 )	R3	1,381	女 子 寮 ( 東 )	R3	326	洗 濯 場	B1	20
男 子 寮 ( 南 )	R4	2,034	食 堂	R1	474	ボ イ ラ 室	B1	14
女 子 寮 ( A )	R4	738	浴 室	R1	170	計		6,619

## 3 その他の建物

名称	仕様・面積	名称	仕様・面積
プ ール ⑯	鋼製 25m 7コース	陸上競技場(サッカー場) ⑰	400m 7コース 6,700㎡
野 球 場 ⑱	9,194㎡	テ ニ ス コ ー ト ⑲	4,520㎡

資料 8 - 1 - ① - 2

4 建物配置図



資料 8 - 1 - ① - 3



体育施設（左：グラウンド、右：テニスコート）



体育施設（左：ハンドボールコート、右：プール）

（出典 総務課施設係写真）

資料 8 - 1 - ① - 4



体育施設（第一体育館と館内）



体育施設（第二体育館と館内）



体育施設（第二体育館内トレーニングルーム）

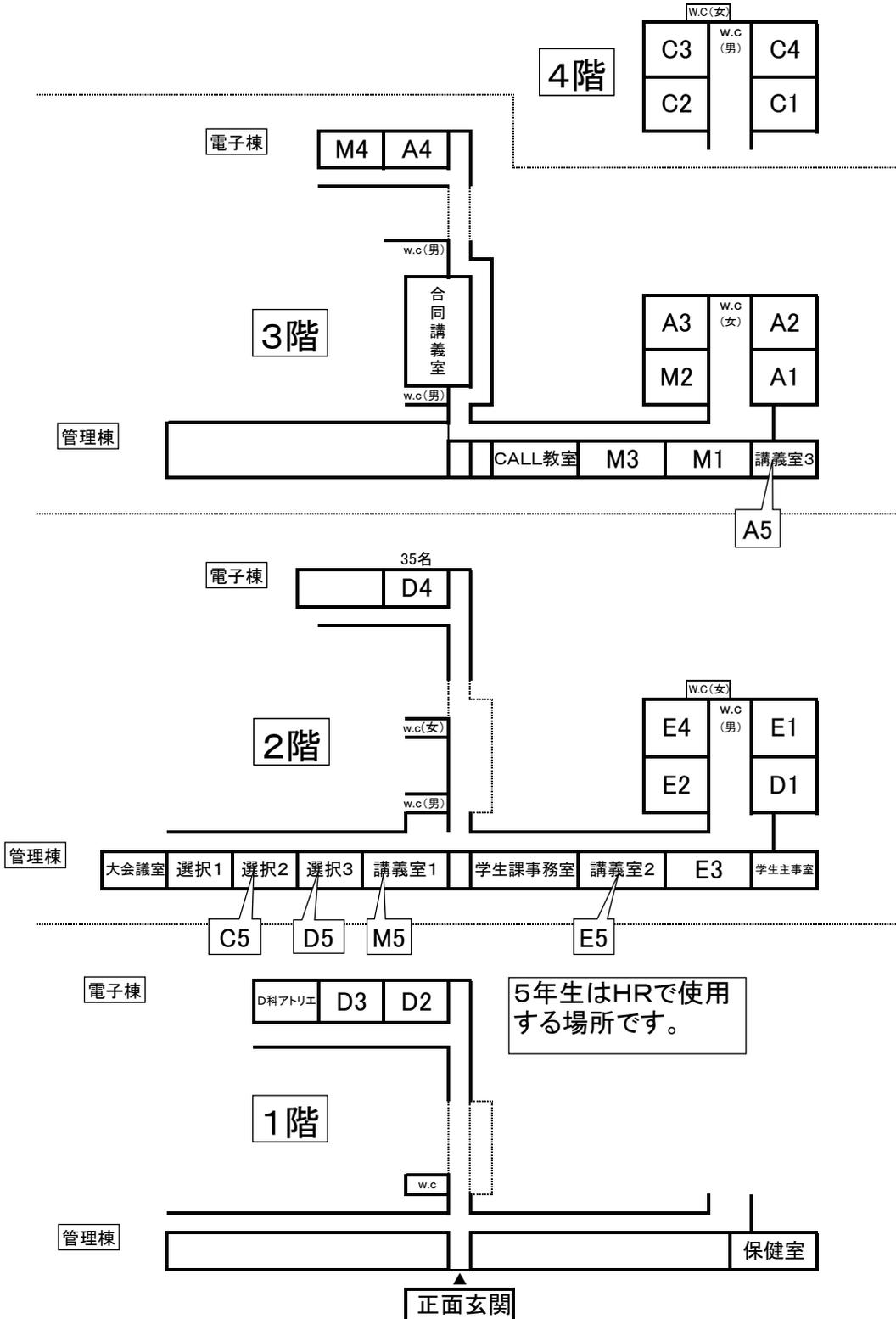


体育施設（武道場と場内）

（出典 総務課施設係写真）

資料 8 - 1 - ① - 5

平成26年4月からの教室配置



(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料 8 - 1 - ① - 6



合同講義室 室内写真

合同講義室 (備品リスト)

設置場所	資産名称	規格	備考
合同講義室	液晶プロジェクタ	SANYO LP-XT35W	
合同講義室	機器収納ラック	マツダデンキ EIA-1400HE	
合同講義室	ミキサー	マツダデンキ WR-X02	ラック内収納
合同講義室	MDデッキ	松下 SJ-MD150	ラック内収納
合同講義室	カセットデッキ	ヤマハ KX-T900	ラック内収納
合同講義室	受信機	マツダWX-4020, WX-D4000	ラック内収納
合同講義室	A Vセレクタ	松下 RP-AV600	ラック内収納
合同講義室	ビデオ再生装置	松下 NV-HS10	ラック内収納
合同講義室	DVD再生装置	松下 DVD-RV35K	ラック内収納
合同講義室	LDデッキ	パナソニック CLD-313	ラック内収納
合同講義室	電源制御ユニット	松下 WU-L61	ラック内収納
合同講義室	アンプ	マツダデンキ WP-C104	ラック内収納
合同講義室	アナログプレーヤー	ビクター QL-Y44F	ラック内収納
合同講義室	ワイヤレスマイクロホン	パナソニック WX-4212	ラック内収納
合同講義室	ワイヤレスマイクロホン	パナソニック WX-4212	ラック内収納
合同講義室	スクリーン	マツダデンキ AM-V080B-BU	
合同講義室	マイクロホンスタンド	松下 WN-275	卓上用
合同講義室	教壇	ライオン 2020*1220*200	
合同講義室	教壇	ライオン 2020*1220*200	
合同講義室	教壇	ライオン 2020*1220*200	
合同講義室	教壇	ライオン 2020*1220*200	
合同講義室	教壇	ライオン 2020*1220*200	
合同講義室	教壇	ライオン 2020*1220*200	
合同講義室	学生机	AICHI SCM-220-1T	車椅子学生用
合同講義室	教卓	ライオン 516-23 No.136	
合同講義室	講演台	ライオン 516-27 No.105	
合同講義室	OHP	3M 2770T	
合同講義室	OHP台	カクタ OT-100S	
合同講義室	メインスピーカ	パナソニック WS-AT80	
合同講義室	メインスピーカ	パナソニック WS-AT80	
合同講義室	マルチングナルスイッチャー	映像センター MAX1301	ラック内収納
合同講義室	プラズマディスプレイ	NEC PDP-P42XP10	
合同講義室	プラズマディスプレイ	NEC PDP-P42XP10	

(出典 総務課施設係資料)

## 資料 8 - 1 - ① - 7



左：教室 右：選択教室 室内写真

## 選択教室，講義室（備品リスト）

設置場所	資産名称	規格	備考
選択教室 1	液晶プロジェクタ	Panasonic PT-F300	
選択教室 1	A V ラック	ハイ工業 CQ-8031	
選択教室 1	ビデオデッキ	ビクター HRDS1	ラック内収納
選択教室 2	液晶プロジェクタ	Panasonic PT-F300	
選択教室 2	A V ラック	ハイ工業 CQ-8031	
選択教室 2	ビデオデッキ	ビクター HRDS1	ラック内収納
選択教室 3	液晶プロジェクタ	Panasonic PT-F300	
選択教室 3	A V ラック	ハイ工業 CQ-8031	
選択教室 3	ビデオデッキ	ビクター HRDS1	ラック内収納
講義室 1	液晶プロジェクタ	Panasonic PT-F300	
講義室 1	ラック	マシタデンキ KB-1200	
講義室 1	ビデオデッキ	東芝 A-JS9	ラック内収納
講義室 1	ビデオコーダー	パイオニア LD-W1	ラック内収納
講義室 1	DVD再生装置	松下 DVD-RV35K	ラック内収納
講義室 1	A V コントロールアンプ	パナソニック SU-AV100	ラック内収納
講義室 1	A V セレクタ	パナソニック RP-AV600	ラック内収納
講義室 1	オーバーヘッドプロジェクタ	3M 2770T	ラック内収納
講義室 2	液晶プロジェクタ	Panasonic PT-F300	
講義室 2	ラック	マシタデンキ KB-1200	
講義室 2	ミキシングパワーアンプ	パナソニック SU-AV505Z	ラック内収納
講義室 2	ビデオデッキ	東芝 A-J7	ラック内収納
講義室 2	DVD再生装置	松下 DVD-RV35K	ラック内収納
講義室 2	メインスピーカ	パナソニック WS-AT80	
講義室 2	メインスピーカ	パナソニック WS-AT80	
講義室 3	液晶プロジェクタ	Panasonic PT-F300	
講義室 3	A V ラック	オーロラ	
講義室 3	ビデオデッキ	パナソニック NV-VP51S-S	ラック内収納

(出典 総務課施設係資料)

資料 8 - 1 - ① - 8



左：一般化学実験室、右：物理実験室



応用物理実験室

(出典 総務課施設係写真)

資料 8 - 1 - ① - 9



左：専門学科学習アトリエの一例、右：専門学科コラボレーションゾーンの一例



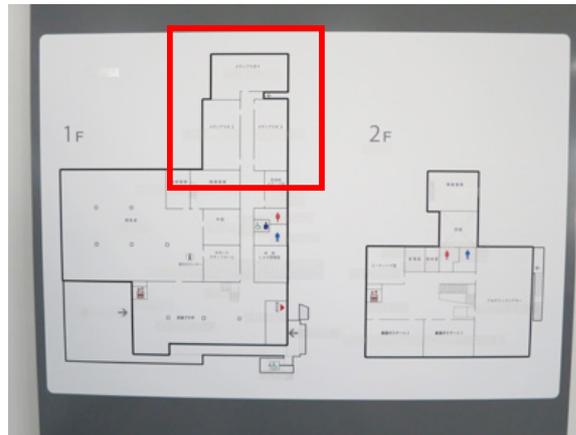
左：物理実験室前コラボレーションゾーン、右：教養教育科コラボレーションゾーン



建築学科コラボレーションゾーンの卒業研究等への活用

(出典 総務課施設係写真)

資料 8-1-①-10 :  
情報教育センター端末室写真



図書館情報センター1階の一部が情報教育センターである



メディアラボ1 (第1端末室)



メディアラボ2 (第2端末室)



メディアラボ3 (第3端末室)

(出典 学生課学術情報係写真)

資料 8 - 1 - ① - 11

設置場所	機器名称	台数
第1端末室	教師用端末 hp compaq dc5850	1台
	学生用端末 hp conpaqdc5850	50台
	プロジェクタ	1台
	プリンタ RICOH IPSio SP C411	2台
第2端末室	教師用端末 hp compaq dc5850	1台
	学生用端末 hp conpaqdc5850	45台
	学生用端末 hp conpaq dc7900	5台
	プロジェクタ	1台
	プリンタ RICOH IPSio SP C411	2台
第3端末室	教師用端末 DELL DC051	1台
	教師用端末 DELL DC051	9台
	学生用端末 NEC PC-MX18	17台
	プロジェクタ	1台
	プリンタ	1台

(出典 学生課学術情報係資料)

## Call 教室設備一式

資料 8 - 1 - ① - 12

品 名	規 格	数 量	備 考
CALL システム 一式 CaLaboEX	CA560-A	1	
教師用 PC ESPRIMO D582/E	FMVDJ3A0E1	1	
CPU Core i3-2120	FMCXCPCDB3	1	
教師用 PC ディスプレイ CV731PJ/W		2	
学生用 PC ESPRIMO B531/D	FMVBH5YBE0	50	
学生用ディスプレイ 三菱電機製 17 型液晶ディスプレイ	RDT1712L	50	

(出典 学生課学術情報係資料)

資料 8 - 1 - ① - 13 : 図書館リニューアル計画について

としよぶらり

NO.96



ISSN 1344 - 5634

第 96 号

平成 26 年 2 月 4 日 発行  
米子工業高等専門学校  
図書館情報センター

目次

図書館リニューアル計画について……………1

米子高専文化セミナー ……………2

## 図書館リニューアル計画について

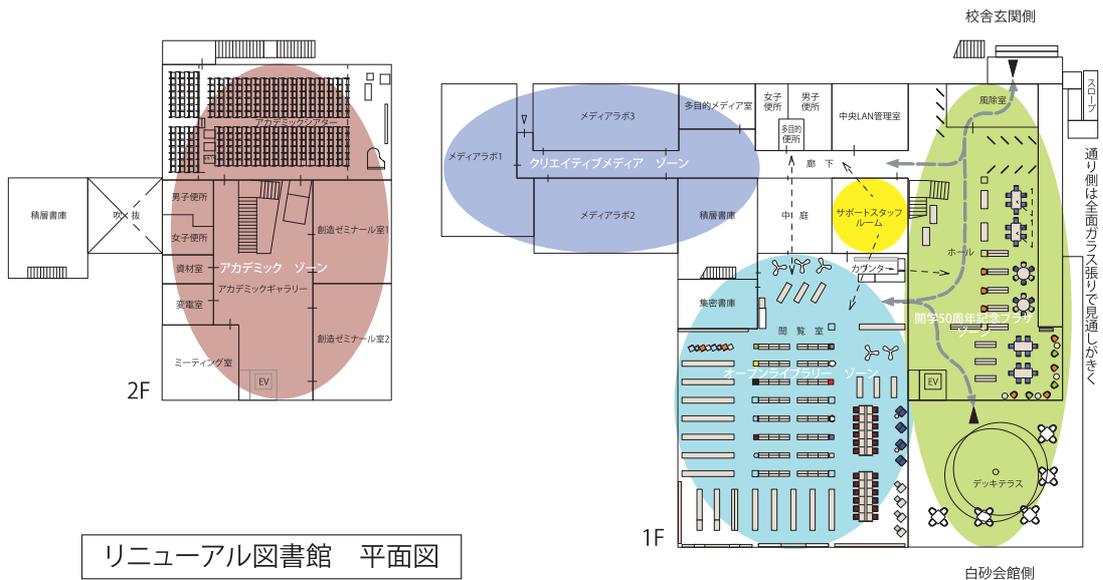
図書館改修準備委員会メンバー 建築学科 高増 佳子

現在工事中の図書館は、耐震改修を主目的に全面リニューアルされ、3月末には完成する予定です。

新しい図書館は、学生たちの利便性を一番に配慮し、建物内のどこでも本が読める空間を目指します。そこで、入口もアクセスのよい校舎玄関側と食堂側2カ所に設け、そこに本の持ち出しを監視するゲートを設置します。

またこれまで書庫に仕舞われていた本もすべて学生達自身が自由に探せるように、7万冊を超える本を開架し、閲覧室だけではなくホール部分まで図書空間を

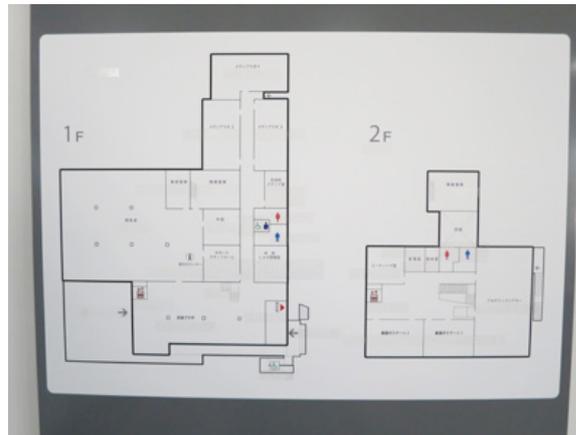
広げ、さらにはガラス張りで一体感のある空間となります。静かに本を読みたい人は閲覧室へ。学生同士意見を交わしながら本を見たい人はブラウジングコーナーもあるホールへ。DVDが見たい人はメディアラボへ。本を見ながら勉強したい人は創造ゼミナール室へと使い方が広がる予定です。食堂側にはデッキテラスも広がり、学生たちの憩いの場も増えます。ぜひ多くの学生、教職員、さらには市民にも親しんで利用いただける図書館になることを期待します。



リニューアル図書館 平面図

(出典 平成 26 年 2 月 としよぶらり第 96 号 表紙)

資料 8-1-①-13 :  
リニューアル後の図書館写真



図書館情報センター案内サイン



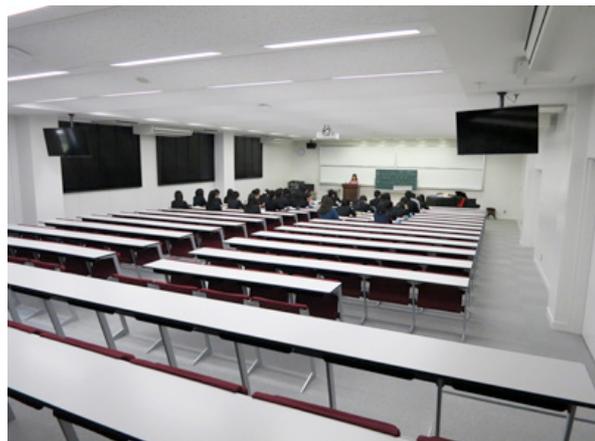
図書館情報センター外観



交流プラザ内雑誌コーナー



閲覧室内読書コーナー



2階アカデミックシアター

(出典 学生課学術情報係写真)

## 【はじめに】

全国の高専には、実験実習をはじめ「ものづくり」の為の施設が整備され、技術スタッフの存在があります。

「ものづくりセンター」では、「教育理念や育成すべき人材像」等を理解し、体験型学習の効果を最大限引き出す事が出来る様に、実験実習授業支援や学生の課外活動支援等、本校の「ものづくり」環境への係わり方を常に意識しております。

「ものづくり教育」には、技術者として要求される基礎知識や技術教育を始め、発想力、考察力などを具えた技術者と成り得る学生を育てる要素が含まれています。

日本の「ものづくり」文化と卓越した「技術力」は、「熟練・器用・誠実・勤勉」など日本人の気質が底力となり、基礎教育と企業の研究開発や生産力から生まれ、進歩を続けながら技術の伝承がされています。

この技術や手法が日本産業界を支え、技術力・高品質維持・安全性・信頼性等全ての分野で世界のトップレベルにあることを見れば、これらを学ぶ事も技術教育の任務と考えます。

今日の日本企業の生産力に見られるように、機械部品等の生産方法でNC 工作機械やその周辺機器の進歩により、“ものを生み出す方法”は日々進歩しています。

本校「実習工場」は、平成 17 年度に全国に先駆けて全面改修を機会に、「ものづくりセンター」と名称を換え、機械工作実習を基礎に学生の「ものづくり」教育支援、教職員の技術相談等の拠点となるべく、学校全体の施設として新たな運用方法を開始し、利便性、安全性等の環境向上により、利用する学生、教職員から高い評価を頂いています。

体験学習の効果は、目的を理解して繰り返し実践を行い、専門知識と技術を融合させる事にあると思います。ものづくり教育の中には、教育目標や専門技術習得に加えて、環境整備の習慣化・グループ作業での協調性・公共の施設を大切に扱う精神等が自然と身に付き、社会性豊かな人格を養う要素が含まれていると考えています。

高専教育の特徴や技術教育の成果が発揮できる様、学生・教職員から意見を拝聴し、存在価値のある「ものづくりセンター」となるべく、運営方法について努力を続けて行きたいと思っています。



ものづくりセンター正面入り口



グラウンド側から見たものづくりセンター建屋

(出典 ものづくりセンター資料)

## 【ものづくりセンター各エリアの紹介】

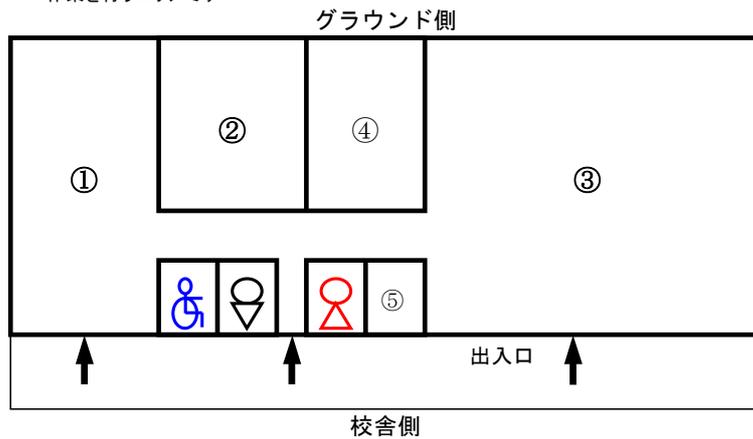
ものづくりセンター施設の機械工作実習授業や課外活動に使用する作業エリアを紹介しします。



①熱造形エリア  
溶接や鍛造・鑄造など熱を使った作業を行うエリアです

### ・部屋の名称

- ①熱造形エリア
- ②テクニカルサポートルーム
- ③機械加工エリア
- ④ミーティングルーム  
(スタッフが常駐している部屋)



②テクニカルサポートルーム  
電気回路実験やパソコンを使った機械のプログラミングなどを行います



③機械加工エリア  
最も広いエリアで多くの工作機械が設置されています。安全通路による導通確保・ゾーニングによる作業エリアの区分け

## 【ものづくりセンターにおける実験実習テーマ紹介】

機械工学科1年～3年（1M・2M・3M），電子制御工学科2年（2D），電気情報工学科1年（1E），物質工学科4年（4C）に対し，機械工作実習を行っています。

### 《機械工作実習の様子》

ものづくりセンターで実施している機械工作実習の内容の一部を紹介します。

#### ・エンジンの分解・組立（実施学年：1M・4C）

汎用4サイクルガソリンエンジン(170cc)の分解と組立を行う実習です。

工具の名称や正しい使用法を覚えたり，ネジの締め付け時の注意点などを習得します。同時にエンジンの原理・構造を学習します。



エンジンの分解組立

#### ・アーク溶接実習（実施学年：1M・1E・2M・2D・4C）

電気の放電（アーク）による熱（3,000℃以上）を利用して鋼材の溶接を行う実習です。始めはビード練習といって板材の上に溶かした金属（溶着金属）を山状に盛っていく練習をします。



アーク溶接作業

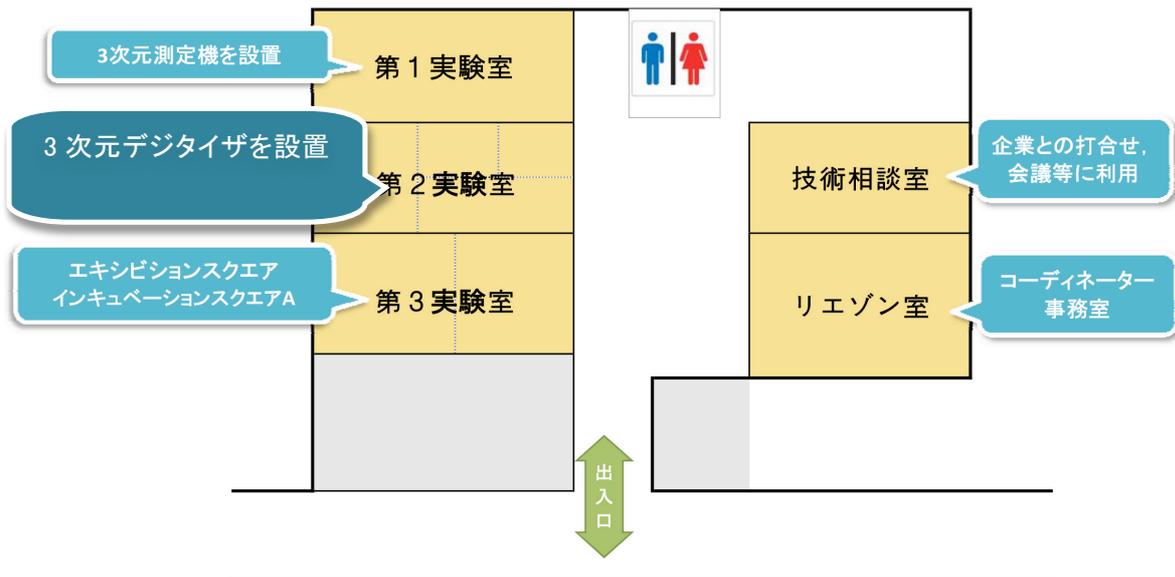


仕上がりを確認します

（出典 ものづくりセンター資料）

## 地域共同テクノセンター 施設・設備

場 所： 講義棟 1F



### 地域共同テクノセンター 備品リスト

アーム型接触式3次元デジタイザ	ワイヤレスインタラクティブパネル
三次元デジタイザ	デジタルカメラ
赤外線熱画像処理装置	ビデオカメラ
プロジェクタ	テレビ
スクリーン	

(出典 地域共同テクノセンター資料)

資料 8 - 1 - ① - 17

地域共同テクノセンター等使用状況一覧(H23～H25)

年度	使用目的	使用年月日	使用人数	使用者
23	<リエゾン室> コーディネーター執務室兼応接室	週5日利用	述べ495	コーディネーター3名
	<技術相談室> 技術相談、会議使用、面接会場、学生試験予備室等	述べ90日	述べ330	教員、事務員、 学生、企業人等
	<研究者交流スペース> 公開講座「リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう」	平成 23 年 7 月 30 日	26	技術教育支援センター (小学生10、保護者10、 教員・技術職員6)
	<研究者交流スペース> 公開講座「家庭発！親から子へつなぐ、エコ工作教室」	平成 23 年 8 月 20 日	30	技術教育支援センター (小学生14、保護者10、 教員・技術職員6)
	<実験室> 共同研究(スリーエステクノ株)	週1～2日程度利用	述べ72	機械工学科・准教授・森田慎一
計			述べ953	
24	<リエゾン室> コーディネーター執務室兼応接室	週5日利用	述べ495	コーディネーター3名
	<技術相談室> 技術相談、会議使用、面接会場、学生試験予備室等	述べ90日	述べ330	教員、事務員、 学生、企業人等
	<実験室> 地域共同教育(横ロジコム) 共同研究(スリーエステクノ株、横中井技研)	週2日程度利用	述べ144	物質工学科・教授・青木薫 物質工学科・助教・伊達勇介 機械工学科・准教授・早水康隆 電気情報工学科・准教授・権田英功 機械工学科・教授・森田慎一
計			述べ969	
25	<リエゾン室><評価資料室> コーディネーター執務室兼応接室	週5日利用 (4月～7月:リエゾン室 8月～3月:評価資料室)	述べ495	コーディネーター3名
	<技術相談室> 技術相談、会議使用、面接会場、学生試験予備室等	述べ30日 (4月～7月:技術相談室 8月～3月:移転のため部屋なし)	述べ110	教員、事務員、 学生、企業人等
	<実験室> 地域共同教育(横ロジコム) 共同研究(スリーエステクノ株、横中井技研)	週2日程度利用 (4月～7月:技術相談室 8月～3月:移転のため部屋なし)	述べ48	物質工学科・教授・青木薫 物質工学科・助教・伊達勇介 機械工学科・准教授・早水康隆 電気情報工学科・准教授・権田英功 機械工学科・教授・森田慎一
	計			述べ653

地域共同テクノセンター等内設備稼働状況一覧(H23～H25)

年度	設置機械名	使用年月日	稼働時間	使用者
23	3次元ディジタイザ	週1～2日程度利用 (H23.4.1～H24.3.31)	144	電気情報工学科・教授・松本正己
	計		144	
24	3次元ディジタイザ	週1～2日程度利用 (H24.4.1～H25.3.31)	144	電気情報工学科・教授・松本正己
	計		144	
25	3次元ディジタイザ	週1～2日程度利用 (H25.4.1～H26.3.31)	144	電気情報工学科・教授・松本正己
	計		144	

(出典 地域共同テクノセンター資料)

Welfare Facilities

# 09 福利施設

白砂会館は、学生と教職員のための福利施設です。館内には食堂、談話室、音楽練習室、研修室等があり、放課後及び休業中に講習や研修、クラブ活動や寮生宿泊に利用されています。また、オープンカフェテラスには売店があり、学生・教職員に大いに利用されています。



福利施設(白砂会館)



売店



学生食堂



オープンカフェテラス

(出典 平成 26 年度学校要覧 P. 35)

## 白砂会館使用状況H24

場所	使用団体	使用時間/日(h)		使用日数/年(d)		年間使用時間(h)	備考
		平日	休日	平日	休日		
音楽練習室	吹奏楽部	2.5	3.5	145	106	733.5	部活動
第1研修室	茶華道部	3.5	0	86	0	301.0	部活動
第1研修室	書道部	3.5	7	60	15	315.0	部活動
第1研修室	文芸部	30	0	2	0	60.0	部活動
第1研修室	合宿	0	24	0	77	1,848.0	合宿
第2研修室	軽音楽同好会	3.5	0	145	0	507.5	部活動
第3研修室	吹奏楽部	2.5	3.5	145	41	506.0	部活動
第3研修室	学生課	4	4	5	2	28.0	式典等
第4研修室	吹奏楽部	2.5	3.5	145	41	506.0	部活動
第4研修室	学生課	4	4	5	2	28.0	式典等
第5研修室	合宿	0	24	0	77	1,848.0	合宿
談話室	吹奏楽部	2.5	3.5	145	106	733.5	部活動
談話室	建築学科	3	6	20	8	108.0	学習
談話室	学生課	3	4	5	3	27.0	式典等
合 計						7,549.5	

(出典 学生課学生係資料)



件 屋外トイレについて

名:

日 2011年10月21日金曜日 9時34分35秒 日本標準時

付:

差 米子高専学生係

出

人:

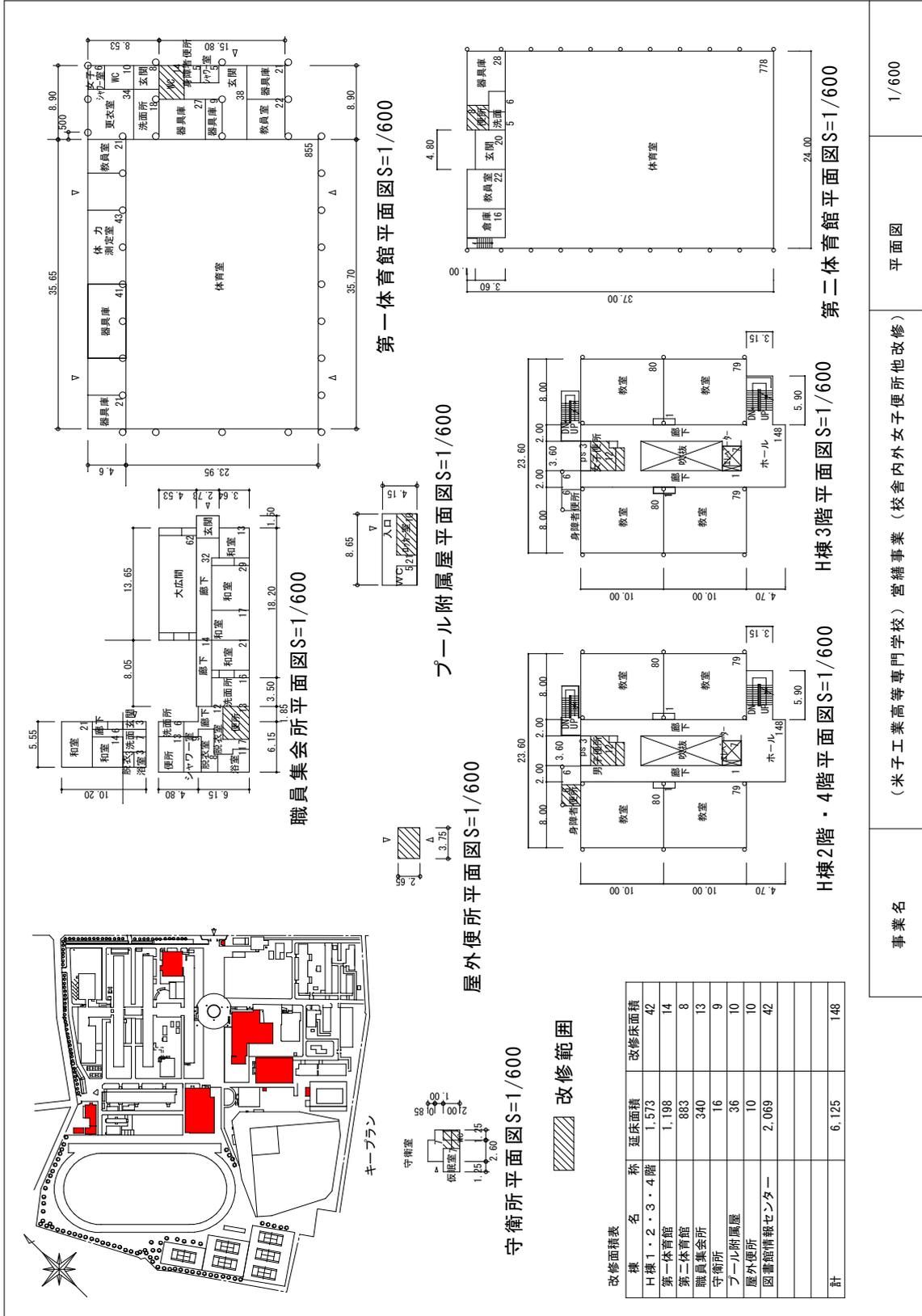
宛 早水 庸隆, 川邊 博, 権田 英功, 細田 智久, 小川 和郎, 加藤 博和, 大野 政人, 山藤 良治, 中山 繁  
先: 生, 永井 猛, 河野 清尊, 藤木 竜也, 大庭 経示, 山本 英樹, 南 雅樹, 村側 博康, 学生係

CC: 施設係

クラブ指導教員各位  
(各運動部代表者1名に送信しております)

お世話になっております。  
このことについて、今週末(22・23日)に武道場裏屋外トイレ及び  
高砂会館外部トイレの改修を行います。  
つきましては、屋外で活動される方におかれましては、テニスコート横  
トイレを使用していただきますよう、よろしくお願いいたします。

////////////////////////////////////  
〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448  
米子工業高等専門学校 学生課  
学生係長 矢田貝俊一郎  
TEL:0859-24-5023  
Fax:0859-24-5029  
[Add:gakusei@yonago-k.ac.jp](mailto:gakusei@yonago-k.ac.jp)  
[Add:yatagai@yonago-k.ac.jp](mailto:yatagai@yonago-k.ac.jp)  
////////////////////////////////////



(出典 総務課施設係資料)

資料 8 - 1 - ① - 22



スロープ (左 : 売店前、右 : 講義棟入口)



エレベータ (左 : 講義棟、右 : 機械工学科棟)



バリアフリースイイレ (玄関近く)

(出典 総務課施設係写真)

## ○米子工業高等専門学校安全衛生委員会規則

(目的)

第1条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構教職員安全衛生管理規則（平成16年4月1日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第31号）第13条に基づき、米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）における安全衛生委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めることを目的とする。

(職務及び権限)

第2条 委員会は、校長の諮問に応じ、又は自らの発議のもとに職場における安全及び衛生に関する事項について調査審議し、校長に意見を述べるものとする。

(組織)

第3条 委員会の委員は、次の者をもって構成する。

- 一 事務部長
- 二 産業医
- 三 衛生管理者
- 四 安全管理者
- 五 その他校長が必要と認めた者

2 前項第1号の委員以外の委員の半数については、本校に勤務する教職員の過半数で組織する労働組合（教職員の過半数で組織する労働組合がないときは、教職員の過半数を代表する者）の推薦に基づき指名しなければならない。

3 委員は、校長が指名する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、事務部長をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会の会務を掌理する。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、毎月1回以上開催することとし、委員長が招集する。

2 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員会が別に定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総務課が行う。

(後略)

## 米子工業高等専門学校環境マネジメント委員会規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、米子工業高等専門学校環境マネジメント規則第 9 条第 2 項の規定に基づき、米子工業高等専門学校環境マネジメント委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 環境方針に関すること。
- (2) 環境目的及び目標に関すること。
- (3) 環境目的及び目標の実施計画並びに達成状況の確認。
- (4) 環境報告書の作成及び公表に関すること。
- (5) その他、環境関連法規等の遵守に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 教員の中から校長が指名した者 若干名
- (2) 事務部長
- (3) 各課長
- (4) 施設係長

(任期)

第 4 条 前条第 1 号の委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置き、事務部長をもって充てる。

- 2 委員長は、環境管理責任者を兼ねるものとする。
- 3 委員長は、必要の都度委員会を招集し、その議長となる。
- 4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名し、環境マネジメント委員会において委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第 6 条 委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第 7 条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(その他)

第 8 条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(後略)

米子工業高等専門学校インフラ整備検討委員会規則

(設置)

第 1 条 米子工業高等専門学校予算委員会規則第 5 条の規定に基づく専門委員会として、米子工業高等専門学校インフラ整備検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本校の施設及び設備の整備について、将来計画を検討し、立案することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 校長補佐（企画，国際交流，教務，学生，寮務，専攻科）
- 二 地域共同テクノセンター長
- 三 事務部長
- 四 総務課長及び学生課長
- 五 校長が指名する教職員

2 前項第 3 号の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げないが、委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、事務部長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に支障があるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代行する。

(意見の聴取)

第 5 条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第 6 条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(後略)

(出典 規則集)

## 平成 25 年度第 2 回インフラ整備検討委員会 議事録

日時：平成 26 年 2 月 19 日（水）9：30 ～ 10：00

場所：校長室

参加者： 【出席】：事務部長、各校長補佐、テクノセンター長、総務課長、学生課長

【陪席】：補佐（財務担当）、財務係長

## 審議事項

1. 平成 26 年度設備整備マスタープラン導入希望設備（更新・新規）の評価（案）  
について

事務部長から資料に基づき、従来からの学内順位付けの考え方により選考した旨説明があり、了承された。また、その選考のうち平成 27 年度借入期間満了する情報教育システムについては更新設備(買い取り)として要求することとした。

なお、参考資料として添付した各部・センター等(共同利用施設)からの要望事項は設備整備マスタープランには馴染まないことから他の経費要求又は緊急性の高いものについては学内予算にて整備する方針とし、今後各部署で精査検討することとした。

個別の意見については次のとおりであった。

## 2. 各部、センター等（共同利用施設）からの要望に対する意見等

本校において、インフラ整備に係る要求の術は設備整備マスタープランによる調査程度しかない(マスタープラン、営繕、設備維持の要求の棲み分けが無い)ことから同時期に委員会で検討することとする。ただし、必要性・緊急性など要求内容の精査されていないものが多々あることからの確な予算化ができない現状である。

また、教職員・学生を対象としたアンケート結果は点検評価委員会にて集計され、オーソライズされるため、関係部署はその結果を注意深く確認し、各種整備に関する検討及び要求を行われない。

(出典 平成 26 年 2 月 19 日 インフラ整備検討委員会議事録)

# 実験実習安全必携

独立行政法人  
国立高等専門学校機構

## 安全必携目次

### 第Ⅰ部 共通

第1章 安全一般心得	1
第2章 学生実験の心得	2
第3章 救護と衛生	3
第1節 救急処置一般	3
第2節 創傷	7
第3節 熱傷	7
第4節 ガス中毒	9
第5節 感電	10
第6節 その他参考事項	10
6-1 熱中症	10
6-2 鼻血	12
6-3 目の外傷	12
6-4 過換気（呼吸）症候群	13
6-5 凍傷	14
第4章 火災時の対応	15
第5章 地震時の対応	16
第6章 爆発時の対応	16
第7章 薬品漏洩時の対応	17

### 第Ⅱ部 作業別安全心得

第1章 電気取扱い	18
第2章 運搬作業	19
第3章 高所作業	19
第4章 回転体取扱い作業	20
第5章 高熱作業	21
第6章 一般化学実験	22
第7章 危険物取扱い作業	22
第8章 有害物質の取扱い	23
第9章 バイオハザードの防止	24
第10章 廃棄物・廃水処理心得	24
第11章 高圧ガス取扱い作業	25
第12章 高圧電気取扱い作業	26
第13章 X線取扱い作業	27
第14章 レーザー取扱い作業	27
第15章 グライNDER作業	27
第16章 溶接・ガス切断作業	28
第17章 容器・ピット内作業	29

（出典 実験実習安全必携）



## 【実験実習授業支援の進め方】

### 機械工作実習授業支援実施学科学年

機械工学科	1年生（通年）	電気情報工学科	1年生（前期）
機械工学科	2年生（通年）	電子制御工学科	2年生（通年）
機械工学科	3年生（通年）	物質工学科	4年生（後期）
機械工学科	4年生（総合実習・年間随時）		

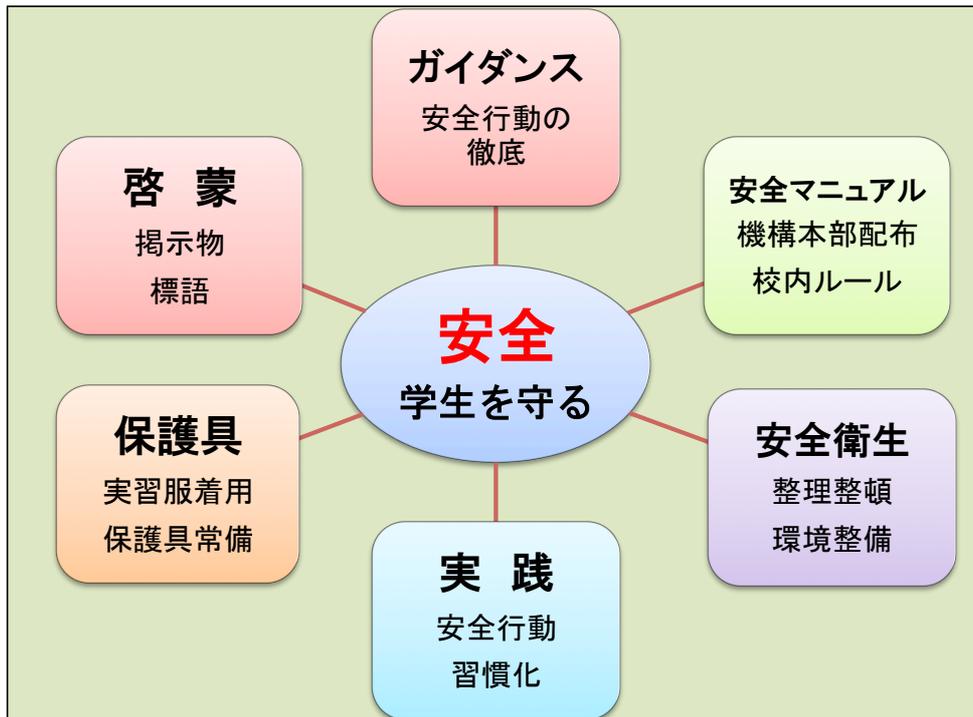
実験実習授業担当教員との、実習計画・テキスト・ガイダンス・安全等について連携確認を行い、「実習目的」を達成できるように教育支援、技術指導を実施しています。



## 【安全対策】

### 「ものづくりセンター」での安全対策

ものづくりセンターでは、学生・教職員が安全に学習・研究が出来るように、安全についての指導を徹底しています。



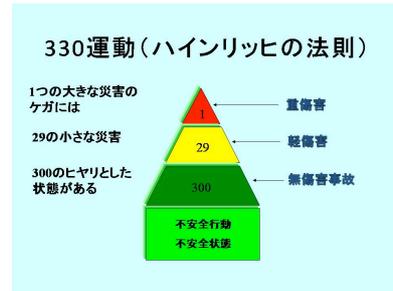
ものづくりセンター内では、機構本部安全管理委員会から配布される「実験実習安全必携」を常に携行をし、本校ものづくりセンターが編集する「安全マニュアル」に基づき、いかなる場合も安全に留意し習慣化することを提唱しています。

平成 24 年 4 月には、「実験実習安全必携」第 2 次改訂版が全学生・教職員に配布されています。

実習授業，課外活動を行う上で学生達は、『不安全行動・不安全状態』がケガ・事故の原因になる事を理解し，それらを排除することが出来る目やセンスを養う様に安全講習やガイダンスを実施しています。



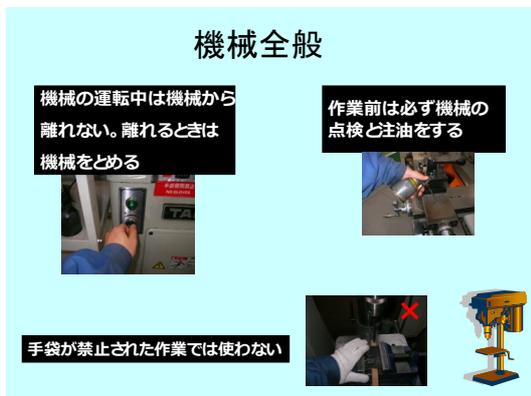
実習授業での安全講習徹底



ハインリッヒの法則



- ・安全保護具にまつわる掲示物
- ・整理整頓推進掲示物
- ・5S活動掲示物  
(整理，整頓，清掃，清潔，躰)
- ・学生考案の安全標語掲示物



- ・工作機械使用上の注意
- ・安全に取り扱うためのガイダンス
- ・機械の整備，使用後の整理整頓徹底



**指定実習服の着用**

**学科別服上・下  
保護帽  
安全靴  
正しい着こなしの徹底**

**保護具の常備**

**保護めがね  
溶接用保護具類  
絶縁電気工具**

**・安全標語掲示による啓発活動**

安全教育の一貫として機械工学科 1・2 年生を対象に年度末のアンケートや安全をテーマとした実習の中で安全標語の提出を義務つけています。  
その中の入選作品をものづくりセンター内で掲示しています。

**平成 24 年度 安全標語入選作品一覧**

入 選 作 品	
気を付けよう 危険はどこにも 潜んでる	2年 小笹 航平
周り見て 危険を予知し 事故防止	2年 谷口 勇人
服装の 乱れがやがて 事故まねく	2年 安田 慎
気をつけよう 慣れた作業に 落とし穴	1年 景山 晴規
かけ声で 高まるみんなの 安全意識	1年 加藤 勇太

(学年は平成 2 4 年度時)

授業要目 (シラバス) [電気情報工学科 - 必修]

資料 8-1-①-29  
放射線物質使用実験

対象学科	電気情報工学科	担当教員	教養教育科 竹内彰継, 川邊 博		
授業科目名	応用物理II	科目コード			
学年	4学年	開講学期	通年	単位数	2単位
区分	必修	授業の形態	講義	単位種類	履修
授業概要	<p>この科目は本校の教育目標のうち「基礎力」を養う科目である。                  前期は実験を行う。製造業では測定誤差の理解が重要であるが、高専ではそれを学ぶ機会が少なかった。そこで物理実験を題材として誤差論を学び、測定誤差の評価法を習得する。なお、応用数学1 (確率統計) で学習した区間推定の知識を用いて測定誤差の評価を行う。すなわち応用数学Iは理論編、応用物理実験は実践編といった相補的な関係になっている。                  後期は3年の応用物理に引き続きの講義をする。前半は熱力学で、気体の状態変化と熱力学の第1法則、第2法則からエントロピーまでを、後半は古典力学の限界から量子力学の構築までを扱う。</p>				
関連する本校の学習教育目標	A-1	関連するJABEE学習教育目標	c		
到達目標	<p>前期の実験の目標は以下のとおりである。                  (1) 有効桁の概念を理解することができる。                  (2) 誤差の伝播公式を理解し、測定誤差の評価をすることができる。                  後期の講義においては、                  (1) 熱力学の第1法則に関する計算ができて、エントロピーの熱力学的な意味を説明できること                  (2) 光の粒子性と電子の波動性の意味を説明できて、シュレディンガー方程式の最も簡単な問題を解くことができること                  を目標とする。</p>				
授業の進め方とアドバイス	<p>前期の実験ではレポートの採点基準を公開するので、それを参考にすること。なお、毎週木曜日の16時30分から17時30分をオフィスアワーとするので、竹内研究室まで質問に来ること。                  後期の講義は用意したプリントをもとに進める。毎週月曜日16時30分から17時30分までの間は質問受付のため川邊研究室 (または物理実験室) に待機する。</p>				
授業内容 スケジュール	回数	授業内容			
	第1週: 実験のガイダンス、誤差論 第2週: 誤差論の講義 第3週: 実験 第4週: 講義 第5週: 実験 第6週: 実験 第7週: 講義 第8週: 前期中間試験 第9週: 実験 第10週: 実験 第11週: 実験 第12週: 実験 第13週: 実験 第14週: 講義 第15週: 講義	<p>実験テーマ: 以下の中から8テーマを選ぶ                  目測系列                  剛性率の測定                  ヤング率の測定                  ケーターの振り子による重力加速度の測定                  レーザーを用いたヤングの干渉実験                  ニュートリングの実験                  分光計による屈折率の測定                  等電位線の実験                  マイクロ波の実験                  電子の<math>e/m</math>の測定  <math>\beta</math>線の吸収実験                  面積計の実験</p>			
教科書	小暮陽三編集「高専の応用物理」森北出版				
参考書					
関連教科	数学I、数学II、微分・積分、代数・幾何、解析I、解析II、物理I、物理II				
基礎知識	一般物理、数学 (微分・積分、確率統計)				
成績の評価方法	総合評価割合	前期の実験はレポートの得点(72%)、試験の得点(20%)、演習の得点(8%)の合計で評価する。後期は定期試験(100%)で評価する。最終的には両者を加算平均する。			
	定期試験	60%			
	レポート	36%			
	演習・小テスト	4%			
	その他	0%			
備考	100%				

(出典 校外向け Web ページ シラバス)

資料 8 - 1 - ① - 30  
放射線物質保管状況

放射性物質(放射性同位元素、核燃料物質及び核原料物質)の使用(保管)状況調査書

高専名: 米子工業高等専門学校

棟番・棟名		室番・室名・管理責任者			放射性物質の有無 (有○無×)	左で有(○)の場合は、品名毎に詳細に記入			点検日	点検責任者	備考	
棟番	棟名	室番	室名	管理責任者名		品名	数量	単位				
58	E棟(2F)		放射線実験室1	竹内彰継	○	β線源(90Sr/90Y)	1	個	4	7月22日	南 雅樹	別紙1のとおり
58	E棟(2F)		"	竹内彰継	○	燐灰ウラン鉱石	1	個	4	7月22日	南 雅樹	別紙2のとおり

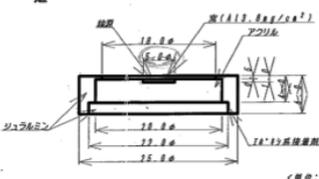
<別紙1>

**仕 様 書**

東京都文京区本駒込二丁目28番45号  
電話 東京 03(5395)8932  
Japan Radioisotope Association  
日本アイソトープ協会  
  
 担当 

名 称 ベータ線源  
 核 種  $^{90}\text{Sr} / ^{90}\text{Y}$   
 線 源 コード SR-301  
 線 源 番 号 0086  
 放 射 能 370 k Bq  
 個 数 1  
 基 準 日 2000年3月14日  
 汚 染 検 査 日 2000年3月14日 合格

備 考 本仕様書に記載されている放射能は、親核種  
 構 造 と娘核種の放射能の和を表しています。



<単位:mm>

保管方法: 鉛の障源用容器へ入れ放射線源保管箱にて保管

別紙 2

名 称 : 燐灰ウラン鉱石  
 数 量 : 1 個 (650 g)  
 放射線量 : 5mSv/year  
 保管方法 : アクリルケースにいれ、放射線源保管箱にて保管

※人形峠で採掘された燐灰ウラン鉱石で、天然のものなので特に濃縮されていないわけではない。

(出典 総務課契約係資料)

様式第一号 (一) (第五类関係)

(第1面)

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書 (保管事業者用)

平成25年6月26日

鳥取県知事 平井伸治 殿

届出者

住所 鳥取県米子市彦名町4448  
 氏名 独立行政法人国立高等専門学校機構  
 米子工業高等専門学校 校長 菅藤 正美  
 電話番号 0859-24-5014  
 資本の額又は出資の総額  
 従業員数 135人  
 業種 学校教育



ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第8条の規定に基づき、平成24年度のポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分の状況等を届け出ます。

事業場の名称	独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校	特別管理産業廃棄物管理責任者の職名及び氏名	物質工学科 小田耕平
事業場の所在地	鳥取県米子市彦名町4448	電話番号	0859-24-5014

①前年度の4月1日に保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物

廃棄物の種類	番号	数量(単位)	廃棄物の製造番号	製造年月	型式容量	保管容器の性状	保管の状況		参考事項
							有(屋内)	無(屋内)	
蛍光灯用安定器	23-001	216個			未設定	ドラム缶	有(屋内)	分別	無
蛍光灯用安定器	23-002	261個			未設定	ドラム缶	有(屋内)	分別	無
蛍光灯用安定器	23-003	168個			未設定	ドラム缶	有(屋内)	分別	無
蛍光灯用安定器	23-004	159個			未設定	ドラム缶	有(屋内)	分別	無
蛍光灯用安定器	23-005	174個			未設定	ドラム缶	有(屋内)	分別	無

(日本工業規格 A列4番)

(出典 総務課施設係資料 抜粋)

資料 8 - 1 - ① - 31  
PCB 物質保管状況



(出典 総務課施設係写真)

資料 8 - 1 - ② - 1

米子工業高等専門学校

# 情報セキュリティポリシー

平成 18 年 10 月 18 日  
平成 25 年 8 月 1 日 (改訂)

(出典 校内 Web ページ 情報セキュリティポリシー)

## 第 1 部 総則

### 1.1 ポリシーの位置付け

#### (1) ポリシーの位置付け

本ポリシーは、「政府機関の情報セキュリティ対策の強化に関する基本方針（平成 17 年 9 月 15 日付情報セキュリティ政策会議決定）」に基づき、米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）が情報セキュリティの確保のために採るべき対策、及びその水準を更に高めるための対策の基準を定めたものである。情報セキュリティ対策の包括的な規定として、本校の情報資産をあらゆる脅威から守るために必要な情報セキュリティの確保に最大限取り組むこととする。また、本校の全ての教職員（常勤職員、非常勤職員及び派遣職員等）は、この目的を果たすため、ポリシーの実施に責任を負うとともに、ポリシーを尊重し、遵守しなければならない。

#### (2) ポリシーの改訂

情報セキュリティの水準を適切に維持していくためには、状況の変化を的確にとらえ、それに応じて情報セキュリティ対策の見直しを図ることが重要である。このため、本ポリシーの見直しを定期的に行い、必要に応じて項目の追加やその内容の充実等を図ることによって、その適用性を将来にわたり維持するものとする。また、政府機関の統一基準が更新された場合、その内容を本校の対策基準に適切に反映させるものとする。

#### (3) 法令等の遵守

情報及び情報システムの取扱いに関しては、法令及び規制等（以下「関連法令等」という。）においても規定されているため、情報セキュリティ対策を実施する際には、本ポリシーのほか関連法令等を遵守しなければならない。なお、これらの関係法令等は情報セキュリティ対策にかかわらず当然に遵守すべきものであるため、本ポリシーでは、あえて関連法令等の遵守について明記していない。また、情報セキュリティ対策に係る内容について定めた既存の政府決定等についても同様に遵守すること。

### 1.2 政府機関統一基準の適用

#### (1) 政府機関統一基準と本ポリシーとの関係

政府機関統一基準は、すべての府省庁が情報セキュリティの確保のために採るべき対策、及びその水準を更に高めるための対策の基準を定めたものである。本校においては、政府機関統一基準で定められた以上の情報セキュリティ確保を目標として、現行の情報セキュリティ関係規程について必要な見直しを行うものとする。その際、本校の特性を踏まえつつ、本ポリシーに盛り込むべき内容を決定し、政府機関統一基準を直接参照する、政府機関統一基準をそのまま取り込む、又は構成や表現を変えて盛り込む等の方法により適切に反映させるものとする。

#### (2) 適用対象範囲

政府機関統一基準を適用する対象範囲を以下のように定める。

- (a) 政府機関統一基準は、「情報」を守ることを目的に作成されている。政府機関統一基準において「情報」とは、情報システム内部に記録された情報、情報システム外部の電磁的記録媒体に記録された情報及び情報システムに関係がある書面に記載された情報をいう。したがって、作業上の文書も適用対象であり、書面に記載された情報には、電磁的に記録されている情報を記載した書面（情報システムに入力された情報を記載した書面、情報システムから出力した情報を記載した書面）及び情報システムに関する設計書が含まれる。
- (b) 政府機関統一基準は、行政事務従事者のうち、情報及び情報システムを取り扱う者に適用される。

## 米子工業高等専門学校情報セキュリティ委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、米子工業高等専門学校情報セキュリティ規則第9条第2項の規定に基づき、米子工業高等専門学校情報セキュリティ委員会(以下「委員会」という。)について必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 委員会は、情報セキュリティに関する事項を総括し、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 情報セキュリティポリシーに関する重要な事項
- (2) 情報セキュリティ対策に関する重要な事項
- (3) 校内 LAN の管理運営に関する重要な事項
- (4) その他情報セキュリティに関する重要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 校長補佐(企画、教務、学生、寮務)
- (2) 図書館情報センター長又は図書館情報センター副センター長のいずれか情報部門担当教員
- (3) 広報室長
- (4) 事務部長
- (5) 総務課長
- (6) 学生課長
- (7) その他校長が必要と認めた者

第3条の2 前条第8号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員を生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、校長補佐(企画)をもって充てる。

2 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決をすることができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務処理)

第7条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、校長が別に定める。

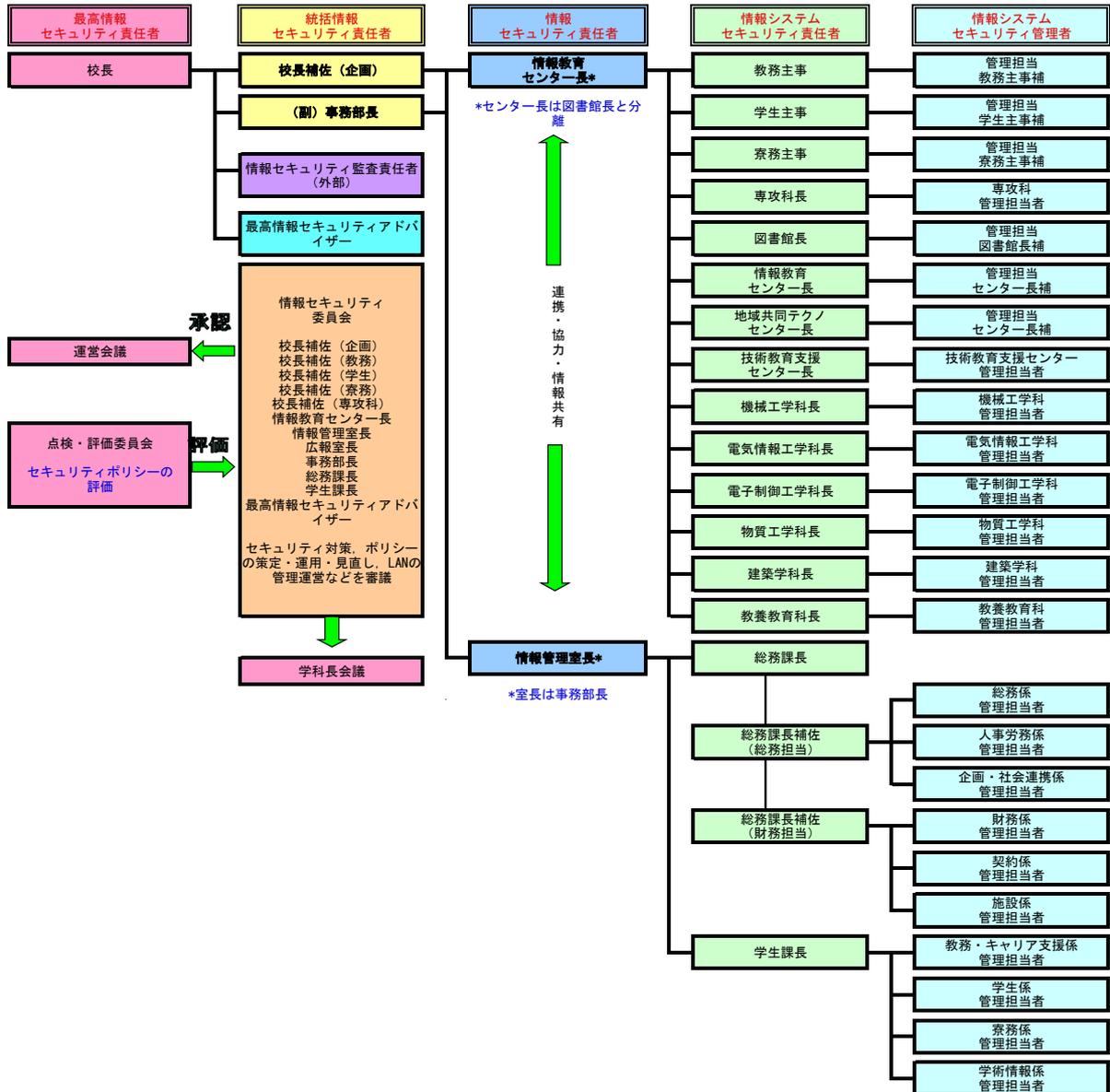
(後略)

(出典 規則集)

資料 8 - 1 - ② - 3

平成25年7月17日  
情報セキュリティ委員会

米子工業高等専門学校情報セキュリティ組織構成



(出典 平成 25 年 7 月 17 日 情報セキュリティ委員会資料、運営会議資料)

件名: 業務用端末の貸与等について (通知)  
 日付: 2013年3月21日木曜日 10時29分16秒 日本標準時  
 差出人: 学術情報係  
 宛先: 全教員 (校長を含む), 全技術教育支援センター職員  
 CC: 総務課長, 学生課長

資料 8 - 1 - ② - 4

平成25年3月21日

教員 各位  
 技術教育支援センター職員 各位

図書館情報センター長

業務用端末の貸与等について(通知)

業務用端末(パソコンOS:Windows7)を以下のとおり貸与しますので、  
 受取り・設定等についてよろしく願いいたします。

- ① 受け渡し期間について  
 3月21日(木)～3月29日(金) 9:00～15:00
- ② 貸与物品及び受渡し場所について
  - ・パソコン(PC管理番号貼付済み)(情報センター管理事務室)
  - ・キーボード(情報センター管理事務室)
  - ・マウス(情報センター管理事務室)
  - ・電源コード(情報センター管理事務室)
  - ・DVI変換コード(情報センター管理事務室)
  - ・ディスプレイ(21.5又は23)(PC管理番号貼付済み)(講義棟1階  
 技術教育支援センター)(貸与不用の申し出があった方は除く。)
- ③ 受取り後の設定について  
 以下の設定等の作業をお願いします。
  - ・メール等のネットワーク環境の設定(IPアドレスは、パソコン上部  
 シールPC管理番号に記載しております。172.21.75.xx)
  - ・Office2010等のインストール  
 マイクロソフト包括ライセンスダウンロードシステム(以下のURL)  
 から、必要なOffice等製品のインストール  
<https://situla.yonago-k.ac.jp/ms/ms-kosen/>
- ④ 機構IT資産管理ソフト(AssetViewWEB)の収集について  
 既にAssetViewWEBをインストールしておりますので、インターネット  
 接続後に以下の手順で収集の操作をお願いします。
  - ・スタート → すべてのプログラム → AssetView WEB → インベントリ収集

(しばらくすると「インベントリデータの転送が完了しました」と表示されます。)  
 OKをクリックして終了です。
- ⑤ 貸与物品の管理について
  - ・貸与物品は、全て図書館情報センターが管理します。
  - ・貸与物品はリース契約のため、リース期間完了後は返却することになります  
 ので紛失等のないようお願いいたします。
  - ・退職等により使用しなくなった場合、貸与物品は、図書館情報センターへ  
 返却してください。後任者等が引き継ぎ、使用することになります。

(出典 平成 25 年 3 月 21 日 業務用端末の貸与 通知メール)

件名: 学生の成績処理を行う端末について  
 日付: 2013年9月3日火曜日 9時56分38秒 日本標準時  
 差出人: 教務・キャリア支援係  
 宛先: 全教員  
 CC: 教務係

資料 8 - 1 - ② - 5

教員 各位

5月23日教務委員会で依頼しているところですが、  
 「学生の成績処理」は必ず業務用端末から行って  
 くださいますようお願いいたします。  
 なお、個人の業務用端末への切り替え期限は9月末日と  
 なっておりますので、併せてお願いいたします。

(出典 平成 25 年 9 月 3 日 業務用端末の運用 通知メール)

## 情報教育センター利用上の注意

米子高専では様々な教育・研究活動やシラバスの閲覧等、学生生活に関する情報が Web ページを通して行われています。様々な重要情報がコンピュータで管理される反面、情報の盗難や管理ミスによる漏洩等の問題発生が危惧されています。そして、これらの問題発生を防ぐには、個人及び組織のセキュリティ意識を高め、可能な限りの対策をしておくことが重要です。

以下に、情報教育センターの教育用コンピュータや、学内情報ネットワークを利用する際の基本的なルール・注意点を記しておきます。ルール違反をして他の利用者に多大な迷惑をかけた場合は、情報ネットワークの利用権限を制限及び禁止する場合がありますので、よくルールを守って下さい。なお、本学の情報ネットワークは教育と学術研究を支援することを目的として運営されていますので、授業もしくは授業関連での利用が原則です。ゲームや趣味など個人的な目的、商業目的など目的外の利用は禁止します。

### ○情報教育センターの教育用コンピュータ

学生は図書館情報処理センターのメディアラボに設置されているコンピュータが利用できます。使用するには入学の際に各自に配られるユーザーアカウントとパスワードが必要です（起動後に入力画面が出ます）。短時間でもコンピュータから離れる場合には、シャットダウンするかログオフし、他のユーザーが誤って使えないようにしてください。

※パスワードを忘れた人や、更新を忘れ有効期限切れになった人は、図書館情報センター 1F スタッフルームにお越しください。（本人確認のため学生証を持参願います）

### 【注意事項】

#### (1) システムのセキュリティを危険にさらし、運用に支障を及ぼすような行為の禁止

##### ○ユーザーアカウント(ID)、パスワードの第三者への開示

パスワードを他人に知らせないことはもちろんであるが、パスワードの付けかたも、誕生日や自分の名前のような簡単にパスワードが推察できるようなものは避けるなどの注意が必要である。大文字、小文字、数字などを混ぜて自分が覚えやすく、他人には判りにくいパスワードを付けることが各自に求められる。

##### ○他人を詐称してコンピュータやネットワークへアクセスすること

偶然または故意の如何を問わず、他人のユーザーアカウント(ID)やパスワードを入手し、それを使って他人に成りすましてネットに入る行為は行ってはならない。また、他人に成りすまそうと試みることも自体やってはならない行為である。他者になりすましてのショッピングサイトの利用や、掲示板や SNS での情報発信はもちろん重大なセキュリティ違反行為である。

##### ○システム的不正使用、またはそれを助ける行為

情報教育センターの利用は決められた手続きを経て行うこと。定められた利用方法、利用時間を守って使用すること。当然のことながら、本校のネットワークから他所のネットワークへ侵入したり、侵入を助けたり、あるいはそのように試みることはやってはならない。

ウイルス等の悪質なプログラムをダウンロードしたり、CD/DVD や USB フラッシュメモリなどに入れて持ち込んだりしないこと。明らかにウイルスを含むと判っているものはもちろん、ウイルスが仕掛けられている可能性のあるようなファイルのダウンロードも絶対行ってはならない。最近では Web サイトを閲覧しただけでも感染するようなウイルスも登場しているので、十分注意しなければならない。

(出典 情報教育センターガイダンス資料)

## 資料 8 - 1 - ② - 6

情報教育センター

2014年4月3日

**○システムの運用に支障を及ぼすような行為**

メディアラボのコンピュータに勝手にアプリケーションをインストールしたり、周辺機器を増設したり、取り外すなどの行為。サーバに入り込み設定を変えたりすることもしてはならない。

また、コンピュータの ON/OFF の手順や USB フラッシュメモリの抜き差しなどは、決められた取り扱い方法をきちんと守り、システムに障害を与えるような操作をしないこと。

**（２）利用マナーに反する行為 第三者のプライバシー、名誉を傷つける行為**

元の際相手とのプライバシー（個人情報、写真など）を公開したり、賞金を出して相手への暴力を呼びかけたり、18歳未満の少年の事件で犯人の少年の名前や顔写真などがネット上で公開され、大きな問題になっている。氏名、住所や電話番号、顔の入った写真などを含む名簿類の公開も、そこに載っている人の了解を得ずに勝手に行ってはならない。

**○公序良俗に反する行為**

たとえ、18歳以上または成人に達していても、校内でのアダルトコンテンツの閲覧は禁止する。アダルトサイトにアクセスすると知らないうちに個人情報を盗まれたり、クレジットカード番号を入力させるように巧みに仕組まれているなど、様々な問題があることを心しておくべきである。ネットを通じて売られた薬を飲んで自殺者が出たことは記憶に新しい。非合法の薬や商品の売買や仲介も行ってはならない。

**（３）営利を目的とした行為や通信販売を利用する行為**

校内情報ネットワークからのインターネットアクセスは、“学術、教育、研究に利用する” という目的がある。基本的には、その目的から逸脱した利用はすべて慎むべきである。アフィリエイトや、通信販売などで校内ネットのメールアドレスを連絡先にするのは目的を外れるだけでなく、学校にも迷惑をかける行為である。同様に、ねずみ講、マルチ商法などの勧誘や宣伝、斡旋などの行為もやってはならない。また、ネットオークションや中古バイク、車やゲーム機などを売買や斡旋することについても同様であり、一切の営利、商用利用は禁止する。

**（４）著作権等の法令に定める権利の侵害**

最近のコンピュータやネットワークの発達には、他人の著作物を簡単に閲覧、コピーすることができる。しかし、他人の著作物（書籍、新聞、雑誌、音楽、写真、映像、ソフトウェアなど）を勝手に引用してネットワーク上で利用することもできない。知的所有権の遵守を心がけねばならない。また、たとえ自分で撮影した写真でも、そこに他人が映っている場合、映っている人物の肖像権に対する配慮が必要である。

**（５）その他法令および社会慣行に反する行為**

インターネットの発達とともにトラブルも増加し続けている。法律を守ることはもちろんであるが、ネットワークマナー（ネチケットなどとも呼ばれる）の厳守を心がけること。社会的常識やネットワークマナーの欠如がそのほとんどの原因である。電子メールの送信や Web ページの作成においてトラブルを起こさないよう、常日頃からマナーの向上に努める必要がある。

※システムおよび他の利用者への迷惑行為や危険を及ぼす可能性のある行為は、すべて禁止する。

（出典 情報教育センターガイダンス資料）

## 情報教育センターの利用について (H26. 4. 28)

情報教育センター長

### 1. メディアラボの時間外利用について

メディアラボは平成26年4月1日より時間外は電気錠による施錠状態となっています。  
今年度については、時間外のメディアラボ利用の際は、図書館内の情報担当窓口で「メディアラボ入室管理カード」(ラボ入室カード)を借り、利用してください。

#### ●時間外利用時間

平日 17:00～20:00  
土曜日 10:00～15:00

#### ●時間外利用手続き方法

窓口で「メディアラボ時間外利用簿」に必要事項を記入し、カードを借りてください。  
また、メディアラボ利用後はカードを窓口に戻却してください。  
※平日17時には自動的に電気錠がロックします。メディアラボ内に既に入室している場合は、上記の利用手続きは必要ありません。(ただし、17時以降いったん退出し再度入室する場合は、上記の利用手続きが必要です)  
退室の際には、メディアラボ1はドアノブの上のロックを回して、メディアラボ2・3は「一時解除ボタン」を押してロックを解除してください。  
なお、具体的な利用手続きについては、窓口でも案内しています。

### 2. メディアラボの土足での利用について

平成26年4月1日よりメディアラボの土足での利用が可能になりました。  
ただし、  
・スパイク  
・ヒール  
・汚れた靴  
を履いている場合は、メディアラボ手前の靴箱で靴を履きかえてください。

### 3. パスワードの有効期限について

パスワードの有効期限は400日(約1年1ヶ月)に設定されています。そのため、平成25年4月に登録された場合は平成26年5月上旬に有効期限が切れます。  
平成25年4月以降にパスワードを変更していない場合は、至急変更してください。  
パスワードの有効期限が切れると、メディアラボ端末機の利用、無線LAN、メール等の利用ができなくなります。

#### 変更方法

メディアラボ端末機のデスクトップ上にあるパスワード変更サイトへのショートカットから変更してください。

(出典 情報教育センターガイダンス資料)

資料 8 - 1 - ② - 8

平成 25 年度図書館情報センター利用状況

		第 1 端末室 (前期)	第 1 端末室 (後期)	第 2 端末室 (前期)	第 2 端末室 (後期)
月	1	3 E	3 E		5 E
	2	3 E	3 E		5 E
	3	3 D		5 E	4 E
	4	3 D		5 E	4 E
	5	1 C	1 D	1 C	1 C
	6	1 C	1 D	1 C	1 C
	7	1 C		1 C	1 C
	8	3 M	3 M		
火	1	2 E	2 E	1 S	4 C
	2	2 E	2 E	1 S	4 C
	3	1 D		2 A	3 M
	4	1 D		2 A	3 M
	5	5 D	5 D	3 E	3 E
	6	5 D	5 D	3 E	3 E
	7			3 E	3 E
	8				
水	1	2 M	2 M	4 E	
	2	2 M	2 M	4 E	
	3	2 D	2 E	4 E	3 C
	4	2 D	2 E	4 E	3 C
	5	2 E			5 E
	6	2 E			5 E
	7				5 E
	8				
木	1	1 D	3 D		1 E
	2	1 D	3 D	5 E	1 E
	3	1 A	5 E	5 E	2 C
	4	1 A	5 E	5 E	2 C
	5	2 C			
	6	2 C			
	7				
	8				
金	1	1 E	1 D	5 M	
	2	1 E	1 D	5 M	5 E
	3	3 M	2 D	2 C	5 E
	4	3 M	2 D	2 C	5 E
	5	1 C	4 C	4 E	4 E
	6	1 C	4 C	4 E	4 E
	7	1 E	4 C	4 E	4 E
	8	1 E			

Mは機械工学科, Eは電気情報工学科, Dは電子制御工学科, Cは物質工学科, Aは建築学科  
また, 数字は準学士課程の学年を示す。

	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	専攻科
週当たり情報処理施設利用時間	7	25	10	12	4	2

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料 8 - 1 - ② - 9

[トップページ](#)[利用案内（本校学生・教職](#)[利用案内（一般利用者）](#)[論文等検索](#)[文献複写・貸借申込（教職員）](#)[図書購入申込（教職員）](#)[文化セミナー](#)[広報誌 としょぶらり](#)[米子高専 研究報告](#)[リンク](#)

米子高専 図書館情報センター

〒683-8502  
鳥取県米子市彦名町4448  
TEL 0859-24-5028

## 蔵書検索

### 蔵書検索サイト一覧

#### [米子高専OPAC](#) 米子高専図書館蔵書検索

[GeNii](#) 国立情報学研究所 学術コンテンツポータル[NACSIS Webcat](#) 全国大学図書館等 蔵書検索[Webcat Plus](#) 図書・雑誌目録と目次・内容情報[国会図書館](#)[鳥取県図書館横断検索システム](#)[日本の図書館と目録サービス](#)

(出典 校外向け Web ページ 図書館蔵書検索画面)

# 米子工業高等専門学校

資料 8 - 1 - ② - 10

## 情報セキュリティ研修会

平成25年9月27日(金曜日)

特定非営利活動法人NPO情報セキュリティフォーラム

<http://www.isef.or.jp/>

(出典 平成25年9月27日 情報セキュリティ研修会資料)



- CONTENTS**
- ▶ ホーム
  - ▶ 米子高専校外向ホームページ
  - ▶ 図書館情報センター (情報ネットワーク)
  - ▶ シラバス
  - ▶ 授業アンケート
  - ▶ 教員顕彰
  - ▶ 総務部実施学生アンケート
  - ▶ 米子工業高等専門学校情報倫理ガイドライン
  - ▶ 情報システムユーザーズガイドライン (機構本部作成)
  - ▶ 情報教育ホームページ
  - ▶ 米子高専情報セキュリティポリシー
  - ▶ 行事予定・施設予約
  - ▶ 教職員の「一斉連絡システム」申請・登録について
  - ▶ 教育・研究
  - ▶ 教育研究活性化経費成果報告書
  - ▶ 研究助成公募等情報
  - ▶ 研修等報告
  - ▶ 教職員提案意見箱
  - ▶ 総務課 (総務部門)
  - ▶ 総務担当補佐
  - ▶ 総務係
  - ▶ 人事労務係
  - ▶ 企画・社会連携係
  - ▶ 総務課 (財務部門)
  - ▶ 財務担当補佐
  - ▶ 財務係
  - ▶ 契約係
  - ▶ 施設係

**新着・お知らせ情報 NEWS**

- '14/01/09 台風等自然災害による休校の一部改正について [教務・キャリア支援係]
- '14/01/08 学生の「一斉連絡システム」申請・登録について [学術情報係]
- '13/07/04 図書館情報センター耐震改修工事について [学術情報係]

**主な予定**

- '14/01/06 行事予定／施設・校用車予約 2014 [学術情報係]

[過去の記事一覧はこちら](#)

**専攻科案内**

専攻科

**学科案内**

- 機械工学科
- 電気情報工学科
- 電子制御工学科
- 物質工学科
- 建築学科
- 教養教育科

(出典 校内 Web ページ トップ画面)



**CONTENTS**

- ▶ ホーム
- ▶ 米子高専校外向ホームページ
- ▶ 図書館情報センター (情報ネットワーク)
- ▶ シラバス
- ▶ 授業アンケート
- ▶ 教員顕彰
- ▶ 総務部実施学生アンケート
- ▶ 米子工業高等専門学校情報倫理ガイドライン
- ▶ 情報システムユーザーズガイドライン (機構本部作成)
- ▶ 情報教育ホームページ
- ▶ 米子高専情報セキュリティポリシー
- ▶ 行事予定・施設予約
- ▶ 教職員の「一斉連絡システム」申請・登録について
- ▶ 教育・研究
  - ▶ 教育研究活性化経費成果報告書
  - ▶ 研究助成公募等情報
  - ▶ 研修等報告
- ▶ 教職員提案意見箱
- ▶ 総務課 (総務部門)
  - ▶ 総務担当補佐
  - ▶ 総務係
  - ▶ 人事労務係
- ▶ 企画・社会連携係
- ▶ 総務課 (財務部門)
  - ▶ 財務担当補佐
  - ▶ 財務係
  - ▶ 契約係
- ▶ 施設係
- ▶ 学生課
  - ▶ 学務担当補佐
  - ▶ 教務・キャリア支援係
- ▶ 学生係
- ▶ 寮務係
- ▶ 学術情報係
- ▶ 図書
- ▶ 情報管理室
- ▶ 技術教育支援センター
- ▶ 後援会
- ▶ 環境への取り組み
- ▶ 専攻科資料ダウンロード

ホーム > 情報管理室 > 情報管理室

情報セキュリティインシデント通報窓口

<勤務時間中>

学内窓口： 情報管理室 (5028)  
 学外窓口： 情報管理室 (0859-24-5028)  
 E-mail : [c-joho@yonago-k.ac.jp](mailto:c-joho@yonago-k.ac.jp)

<時間外>

情報管理室 (技術担当) 090-4803-5532  
 情報管理室 (事務担当) 080-1914-8410

- ◆ 米子工業高等専門学校情報倫理ガイドライン
- ◆ 米子工業高等専門学校情報セキュリティポリシー
- ◆ 米子工業高等専門学校情報セキュリティインシデント対応手順
  - (別紙 1) 不正アクセス届出様式 (第 1 報)
  - (別紙 2) 不正アクセス届出様式 (詳細報告)
  - (別紙 3) インシデント発生・再発防止策に関する報告・申請書
- ◆ 米子工業高等専門学校情報セキュリティインシデント対応手順
  - (フロー図)
- ◆ 米子工業高等専門学校情報セキュリティ実施手順
  - (別紙 1) 情報持出許可申請書
  - (別紙 2) 私物パソコン使用申請書
  - (別紙 3) 外部アクセスサーバ設置申請書
- ◆ 米子工業高等専門学校情報セキュリティインシデント対応について

- ◎ [文書管理システム](#)
- ◎ [機構 IT 資産管理システム](#)  
高専機構管理下におけるパソコン及びソフトウェアの管理システム
- ◎ [KOALA・ザイトス](#)
- ◎ [校内HPカレンダー](#)  
行事予定入力閲覧、会議室・講義室・校用車予約閲覧、  
スクールバス予約状況の確認ができます。

(出典 校内 Web ページ 情報管理室画面)

独立行政法人国立高等専門学校機構  
**米子工業高等専門学校**  
**情報倫理ガイドライン**

本ガイドラインは、コンピュータや携帯電話などの情報システムを利用するときに守らなければならない事項を抜粋したものです。これらの遵守事項を守らないと、本人・学校の信用を失墜させたり名誉を傷つけたりするだけでなく、法的な問題に発展する可能性があります。十分注意してください。

- ◆ 本校の情報システムは、教育・研究など学校の仕事（学生については、勉学・研究など学生本来の活動）のため以外に使用しない。
- ◆ 名誉毀損・誹謗中傷・人権侵害・セクシャルハラスメント・パワーハラスメントになるような情報発信をしない。
- ◆ 学校内の情報は、個人のパソコンやメモリー媒体に入れて外部に持ち出さない。
- ◆ 他人のプライバシー・著作権・肖像権・知的所有権などを侵害しない。
- ◆ 個人情報のように秘密にしなければならない情報を漏らさない。
- ◆ 法令やモラルに反する方法で、情報を取得したり発信したりしない。
- ◆ 嘘の情報を掲示板に書き込んだり、ホームページ上で公表したりしない。
- ◆ 情報システムの円滑な利用・運用の妨げとなる行為をしない。

**※ たとえば、次の行為は情報倫理ガイドライン違反です。**

- ・ 全員の了承をとらずに、クラス名簿をホームページで公開した。
- ・ インターネット上の掲示板に、他人の悪口を書き込んだ。
- ・ インターネット上の掲示板に、他人の噂話を書き込んだ。
- ・ ファイル交換ソフトで違法に公開されていた映画や音楽をダウンロードした。さらにダウンロードした情報を自分も公開した。
- ・ 腹の立つ相手にウィルス付メールを送った。



パスワードを他人に教えたり、すぐわかるところに貼りつけておいたりしないよう注意してください。



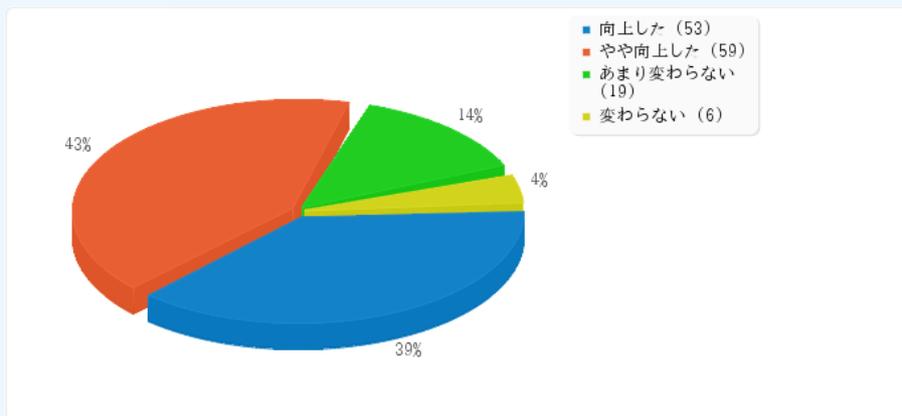
(出典 校内 Web ページ 情報倫理ガイドライン)

## 資料 8 - 1 - ② - 13

## 15001 フィールドの概要

【問 3 3】本校では「米子高専情報セキュリティポリシー」の整備、「情報セキュリティに関するFD研修」の実施などを継続的に行っています。これらによって情報セキュリティへの意識は向上しましたか？

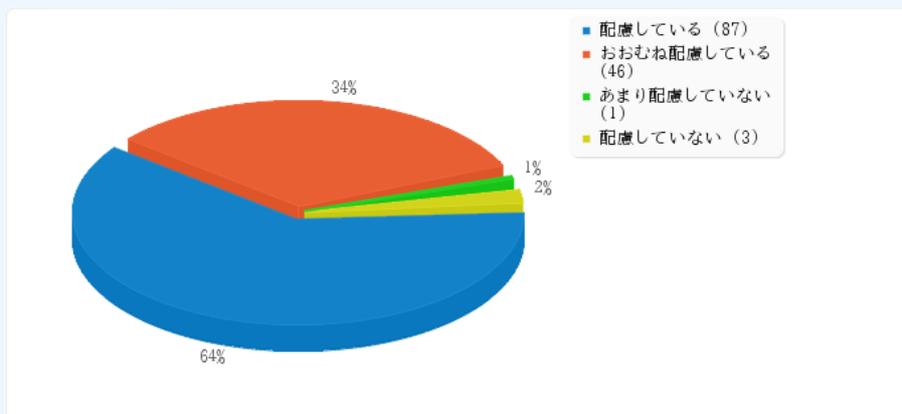
回答	カウント	百分率
向上した (A1)	53	38.69%
やや向上した (A2)	59	43.07%
あまり変わらない (A3)	19	13.87%
変わらない (A4)	6	4.38%
わからない	0	0.00%



## 15002 フィールドの概要

【問 3 4】本校では「情報倫理ガイドライン」を整備しています。成績記録や答案用紙等といった学生の個人情報の取扱いについて、日頃から配慮していますか？

回答	カウント	百分率
配慮している (A1)	87	63.50%
おおむね配慮している (A2)	46	33.58%
あまり配慮していない (A3)	1	0.73%
配慮していない (A4)	3	2.19%
わからない	0	0.00%



(出典 企画部平成 25 年度教職員アンケート結果)

資料 8 - 2 - ① - 1

## 蔵書冊数及び分野別一覧

平成25年3月31日現在 As of March 31 2013

		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	計
図書の本数	和書	3,495	3,977	7,392	7,463	8,930	16,376	891	2,801	2,885	12,558	66,768
	洋書	209	546	215	167	271	416	11	78	796	2,884	5,593
	計	3,704	4,523	7,607	7,630	9,201	16,792	902	2,879	3,681	15,442	72,361
年度受入冊数	和書	65	31	75	49	169	238	8	31	13	77	756
	洋書	0	5	0	0	5	4	0	0	0	65	79
	計	65	36	75	49	174	242	8	31	13	142	835

(出典 学生課学術情報係資料)

資料 8 - 2 - ① - 2

平成25年度国内雑誌一覧

雑誌名	分野	
a+u	建築学科	
AXIS(アクシス)		
Casa BRUTUS(カーサブルータス)		
季刊まちづくり		
芸術新潮		
建築技術		
建築知識		
商店建築		
新建築		
新建築 住宅特集		
ディテール		
AXIS(アクシス)		
GA JAPAN		建築学科
JA		
美術手帖		
GA DOCUMENT 世界の建築	建築学科	
新建築	建築学科	
a+u	物質工学科	
化学		
現代化学	電子制御工学科	
インターフェース		
トランジスタ技術	電子制御工学科	
トランジスタ技術		
インターフェース	電子制御工学科	
ソフトウェアデザイン		
トランジスタ技術	電子制御工学科	
ロボコンマガジン		
インターフェース	電気情報工学科	
新電気		
トランジスタ技術	電気情報工学科	
MJ無線と実験		
インターフェース	電気情報工学科	
ソフトウェアデザイン		
トランジスタ技術		
日経Linux		
日経ソフトウェア	教養教育科	
体育の科学		
保健の科学	教養教育科	
Newton(ニュートン)		
パリティ	教養教育科	
天文ガイド	教養教育科	
日経サイエンス	教養教育科	
国語国文	教養教育科	
国語と国文学		
日本語学	教養教育科	
史学雑誌	教養教育科	
思想		
世界		
地理		
日本歴史		
古文書研究		
月刊バスケットボール		
サッカークリニック		
テニスマガジン		
バドミントン マガジン		
バレーボール		
ラグビーマガジン		
陸上競技		
文藝春秋		
健康教室		

平成25年度外国雑誌一覧

雑誌名	巻号	発行頻度	
ACI STRUCTURAL JOURNAL	110(1-6)	6N	建築学科
Trans. ASME. : Journal of Dynamic Systems, Measurement, and Control	135(1-6)	6N	機械工学科
Trans. ASME. : Journal of Fluids Engineering	135(1-12)	12N	
Trans. ASME. : Journal of Heat Transfer	135(1-12)	12N	
Trans. ASME. : Journal of Tribology	135(1-4)	4N	
ARCHITECTURAL RECORD	201(1-12)	12N	建築学科
American Mathematical Monthly	120(1-10)	10N	教養教育科

平成25年度年間契約雑誌一覧

支払い回数	学会等購入者	誌名	分野
年1回	日本建築学会	日本建築学会論文報告集 構造系/計画系/環境系	建築学科
年1回	日経BP社	日経アーキテクチャ	建築学科
年1回	都市計画協会	新都市	建築学科
年1回	毎日学術フォーラム	日本教育工学会論文誌	電子制御工学科
その都度支払分 (書類は同封または別便)	毎日学術フォーラム	Educational Technology Research	電子制御工学科
年1回	毎日学術フォーラム	日本教育工学会研究報告集	電子制御工学科
年1回	日経ナショナル ジオグラフィック	ナショナルジオグラフィック	教養教育科

(出典 学生課学術情報係資料)

## CONTENTS

- トップページ
- 利用案内 (本校学生・教職)
- 利用案内 (一般利用者)
- 蔵書検索
- 文献複写・貸借申込 (教職員)
- 図書購入申込 (教職員)
- 文化セミナー
- 広報誌 としょぶらり
- 米子高専 研究報告
- リンク

## 米子高専 図書館情報センター

〒683-8502  
鳥取県米子市彦名町4448  
TEL 0859-24-5028

## 論文検索

## 論文検索等のサイト一覧

## 論文検索

- [GeNii](#) 国立情報学研究所 学術コンテンツポータル
- [CiNii\\*](#) NII論文情報ナビゲータ
- [WebcatPlus](#) NII電子図書館
- [KAKEN](#) 科学研究費成果公開サービス
- [NII-DBR](#) 学術研究データベース・リポジトリ

- [国会図書館 雑誌記事索引](#)

## 電子ジャーナル

- [Science Direct\\*](#) 科学系雑誌の電子ジャーナル
- [JDreamIII\\*](#) 科学技術・医学電子データベース
- [J-STAGE](#) JST (科学技術振興機構) が無料で提供している。日本国内の学協会が発行する雑誌を見ることができます。
- [Springer](#) SpringerおよびSpringerグループ出版社の電子ジャーナル (約1,700タイトル) の1997-2014年のオンラインアクセスを提供。  
※[ユーザーガイド](#)  
※[タイトルリスト](#)
- [ASME DIGITAL COLLECTION](#)
  - ・ Journal of Dynamic Systems, Measurement, and Control
  - ・ Journal of Fluids Engineering
  - ・ Journal of Heat Transfer
  - ・ Journal of Tribology
 上記4誌の2000年-購読年 (2014年) までが閲覧可能。  
 ※[閲覧方法について](#)

## データベース

- [JIS検索 \(日本工業標準調査会\)](#) データベース検索のJIS検索からJIS規格の全文を見ることができます
- [日本統計協会](#)

上記のうち、\*印のついているものは、校内でのみ利用可能です。

[RETURN TO TOP](#)

(出典 校外向け Web ページ 図書館論文検索サイト)

CiNii

日本の論文をさがす

大学図書館の本をさがす

国立高等専門学校機構 様

定額

新規登録

ログイン

English

資料 8 - 2 - ① - 3

CiNii 日本の論文をさがす  
Articles

論文検索

著者検索

全文検索

[大学図書館の本をさがす](#) »

論文検索

▶ [詳細検索](#)

すべて

CiNiiに本文あり

CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

[CiNii本文収録刊行物ディレクトリ](#)

#### CiNiiについて

[CiNiiについて](#)

[利用規約](#)

[お問い合わせ](#)

[国立情報学研究所 \(NII\)](#)

#### ヘルプ

[CiNii Articles - 日本の論文をさがす](#)

[CiNii Books - 大学図書館の本をさがす](#)

[メタデータ・API](#)

#### 新着情報

[お知らせ](#)

[Twitter](#)

#### NIIのコンテンツサービス

[KAKEN - 科学研究費助成事業データベース](#)

[JAIRO - 学術機関リポジトリポータル](#)

[NII-REO - 電子リソースリポジトリ](#)

Copyright © 2014 National Institute of Informatics. All Rights Reserved.

(出典 校内からの CiNii アクセス画面)

## 図書館統計

### 1.平成24年度利用状況

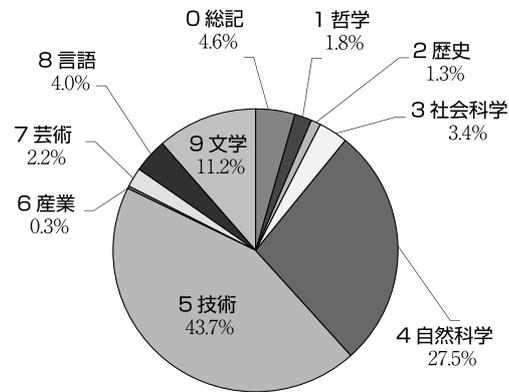
開館日数244日

区分	学生	教職員	校外者	合計
学生・教職員数	1,065人	118人	23人	1,206人
入館者数	47,727人		499人	48,226人
図書貸出者数	5,335人	525人	99人	5,959人
図書貸出冊数	10,678冊	1,090冊	261冊	12,029冊

### 2.NDC分類別貸出冊数・貸出率

分類	貸出冊数
0 総記	557
1 哲学	222
2 歴史	152
3 社会科学	410
4 自然科学	3,305
5 技術	5,252
6 産業	41
7 芸術	261
8 言語	477
9 文学	1,352
合計	12,029

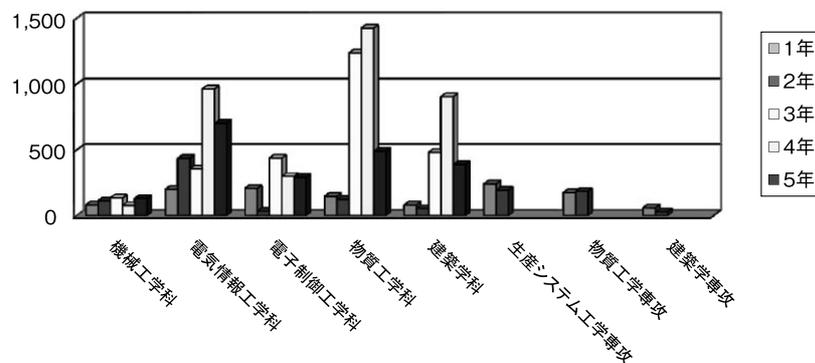
順位	分類	貸出率(%)
1位	5 技術	43.7%
2位	4 自然科学	27.5%
3位	9 文学	11.2%
4位	0 総記	4.6%
5位	8 言語	4.0%
6位	3 社会科学	3.4%
7位	7 芸術	2.2%
8位	1 哲学	1.8%
9位	2 歴史	1.3%
10位	6 産業	0.3%
合計		100.0%



### 3.平成24年度 学年・学科別貸出冊数

本科・専攻科

学年	本科					専攻科			合計
	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	生産システム工学専攻	物質工学専攻	建築学専攻	
1年	81	200	207	146	81	241	175	59	1,190
2年	112	436	34	123	56	194	185	30	1,170
3年	134	355	438	1,237	481				2,645
4年	78	962	299	1,425	904				3,668
5年	131	702	291	491	390				2,005
合計	536	2,655	1,269	3,422	1,912	435	360	89	10,678



## ブックハンティングの購入図書一覧

書名	著者名	出版社等
フリーソフトでつくる音声認識システム	荒木 雅弘	森北出版
総合英語Forest 第6版	石黒 昭博	桐原書店
分子生物学	東中川 徹	オーム社
バイオメトリックセキュリティ入門	瀬戸 洋一	ソフトリサーチセンター
プロになるためのゲームプランニングの教科書《基礎》	瀬古 英司	技術評論社
藤本壮介読本	藤本 壮介	ADAエディタトーキョー
実験マニア	山田 暢司	亜紀書房
パソコン自作超入門 2012	日経WinPC	日経BP社
「機動戦士ガンダム」の巨大基地をつくる!	前田建設工業	幻冬舎
空想科学読本 13	柳田 理科雄	メディアファクトリー
建築家の読書術	平田 晃久	TOTO出版
必修英語問題精講	宇佐美 光昭	旺文社
基礎英語長文問題精講	中原 道喜	旺文社
基礎英文問題精講	中原 道喜	旺文社
基礎英文法問題精講	中原 道喜	旺文社
忘れてしまった高校の生物を復習する本 カラー版	大森 徹	中経出版
イメージは物質化する 「富」を無限に引き寄せる10法則	ボブ・プロクター	きこ書房
ゲームのアルゴリズム 思考ルーチンと物理シミュレーション	橋口 ゆうすけ	ソフトバンククリエイティブ

■ 8

(出典 平成 25 年 7 月 としょぶらり第 95 号 P.9)

資料 8 - 2 - ① - 6

推薦図書等一覧表

順位	書名	著者等	出版社	学科等名		建築学科	
				ISBN	出版年 (価格(税込))		
1	1999-2012 Volume2 STEVEN HOLL		A.D.A. EDITA Tokyo & GA Photographers	978-4-87140-431-0	2012	7,560	
2	1975-1998 Volume1 STEVEN HOLL		A.D.A. EDITA Tokyo & GA Photographers	978-4-87140-429-7	2012	5,985	
3	TADA0 ANDO 2001-2007		A.D.A. EDITA Tokyo & GA Photographers	978-4-87140-430-3	2012	6,825	
4	東京都美術館ものがたり	東京都美術館、編、浅生ハルミン、絵	鹿島出版会	9784306045781	2012	1,575	
5	建築について話してみよう 続	西沢 立衛	王国社	978-4-86073-052-9	2012	1,995	
6	ル・コルビュゼは生きている	南 明日香	王国社	978-4-86073-051-2	2011	1,995	
7	坂倉半三とはだれか	松隈 洋	王国社	978-4-86073-050-5	2011	1,995	
8	喪われたレモンド建築 東京女子大学東寮・体育館	東京女子大学レモンド建築 東寮・体育館を活かす会	工作舎	978-4875024439	2012	2,520	
9	ノーマン・フォスター 建築とともに生きる	ディヤン・スジック (著)、三輪直美 (翻訳)	TOTO出版	978-4887063211	2011	2,940	
10	プロジェクト・ジャパン メタボリズムは語る	ロム・ゴッホルツ (著)、フアン・ハンス・ワルツ (著)、大田 隆代子 (編訳)、ジューン・ス・ウェストコット (編訳)、メロウ・ノ・エ (訳)	平凡社	978-4582544381	2012	7,980	
11	建築の大転換	伊東 豊雄 (著)、中沢 新一 (著)	筑摩書房	978-4480860767	2012	1,890	
12	地域社会主義	山本 理顕 (著)、金子 勝 (著)、平山 洋介 (著)、上野 千鶴子 (著)、仲 俊浩 (著)、末光 弘和 (著)、松行 輝昌 (著)	LIXIL出版	978-4864803007	2012	2,415	
13	建築を考える	ペーター・ツムトア (著)、鈴木 仁子 (翻訳)	みずす書房	978-4822076551	2012	3,360	
14	藤森照信の茶室学—日本の極小空間の謎	藤森照信	六耀社	978-4897377049	2012	3,150	
15	日本建築遺産12選—語りなおし日本建築史	磯崎 新	新潮社	978-4106022203	2011	1,680	
16	メタボリズムの未来都市展—戦後日本・今甦る復興の夢とビジョン	森美術館 (編集)	新建築社	978-4786902345	2011	4,800	
17	『新たな船出 A see-worthy vessel』	今治市伊東豊雄建築ミュージアム	今治市伊東豊雄建築ミュージアム		2011	1,500	
18	震災のためにデザインは何か可能か	hakuodo+design/studio-L		978-4-7571-4219-0	2009	2,940	
19	遊理構造BOOK	仙田+環境デザイン研究所	美術出版社	8-4-568-60046-7 C30	2011	8,400	
20	2011年改訂版耐震改修促進法のための既存鉄骨建築物の耐震診断および耐震改修指針・解説		日本建築防災協会	?	2011	8,000	
21	国土交通省住宅局建築指導部「既存鉄骨プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」/簡易診断法		日本建築防災協会	?	?	4,000	
22	コミュニティデザイン 人がつながるしくみ	山崎亮	学芸出版社	978-4761512866	2011	1,890	
23	コミュニティデザインの仕事	Studio-L	ブックエンド	978-4903295923	2012	1,890	
24	クリエイティブ・コミュニティデザイン	成瀬裕隆建築、他	フィルムアート社	978-4845912902	2012	1,785	
25	コミュニケーションのアーキテクチャを設計する	藤村龍至・山崎亮	彰国書	978-4395241118	2012	1,890	
26	図解 アトリエ・ワン	アトリエ・ワン	TOTO出版	978-4887062788	2007	2,730	
27	アトリエ・ワン 空間の響き／響きの空間	アトリエ・ワン	INAX	978-4872751574	2009	1,890	
28	藤本壮介／原初的な未来の建築	藤本 壮介	INAX	978-4872751482	2008	1,890	
29	都市をリノベーション	高橋正章	NTT出版	978-4757160545	2011	2,415	
30	西沢大良／本作品集2004-2010	西沢大良	INAX	978-4872751697	2011	1,890	
31	五十嵐洋／状態の構築	五十嵐洋	TOTO出版	978-4887063181	2011	3,150	
32	建築からみた まち いえ たてもの のシナリオ	貝島桃代	INAX出版		2010	1,470	
33	Kindergarten Architecture 幼稚園		Dalian University of Technology Press		2012	5,200	
34	建築構成学 建築デザインの手法	坂本一成 他	実教出版		2012	2,620	
35	KENGO KUMA 2006-2012	隈研吾	A.D.A. EDITA Tokyo & GA Photographers	978-4-87140-433-4	2012	6,980	
36	BIG RECENT PROJECT		A.D.A. EDITA Tokyo & GA Photographers	978-4-87140-678-9	2012	3,990	
37	「建築設計資料」別冊 01 KES構法で建てる木造園舎		建築資料研究社	978-4863581944	2012	3,990	
38	NA建築家シリーズ06 平田亮久・吉村謙孝		日経BP社	978-4-8222-7458-0	2012	3,675	
39	図解 エコハウス (エクサナレッジムック)		エクサナレッジ	978-4767813790	2012	2,310	
40	311とグローバルデザイン	日本建築家協会デザイン部会	鹿島出版会	978-4306045699	2012	2,520	
41	幸せに向かうデザイン	永井一史、山崎亮他	日経BP社	978-4822266981	2012	2,310	
42	セヴェラルネス(プラス)・事例連続と都市・建築・人間	中谷礼仁	鹿島出版会	978-4306045521	2011	2,625	
43	311ゼロ地点から考える	内藤廣、原研哉監修	TOTO出版	978-4887063266	2012	2,525	
44	プロダクトデザイン 商品開発に関わるすべての人	JIDA「プロダクトデザイン」編集委員会	ワークスコーポレーション	978-4862670632	2009	3,360	
45	世界で一番美しい住宅デザインの教科書	中山 繁信	エクサナレッジ	978-4-7678-1466-7	2012	1,995	
46	建物できるまで図鑑 木造住宅	瀬川康秀／著 大野隆司	エクサナレッジ	978-4-7678-1435-3	2012	1,890	
47	住宅建築なんでも小事典	大野隆司	講談社ブルーバックス	978-4-06-257679-6	2010	1,197	
48	欠陥住宅事件ここが危ない！事例と教訓	平野 重司	学芸出版社	978-4-7615-2543-9	2012	2,520	
49	ひと目でわかる欠陥住宅	鎌原信樹／編著 幸田雅弘	民法法研究会	978-4-89928-650-	2010	2,625	
50	現場の失敗 平成23年版		現法土木施工管理技士会連合会	978-4-903986-05-0	2010	2,500	
51	137年の物語 宇宙が始まってから今日の全歴史	クリストファー・ロイド	文藝春秋	978-4-16-374200-7	2012	3,140	
52	強い住宅地盤—住宅基礎地盤の失敗例に学ぶ		総合土木研究所	978-4-915451-13-3	2011	3,150	
53	建築構法のしくみ 建築空間構成・木質系建物	井口 洋佑	共立出版	978-4-320-07709-6	2012	3,990	
54	耐震・制震・免震が—番わかる	高山孝夫／共著 田村和夫／共著 池田芳樹／共著	技術評論社	978-4-7741-5342-1	2012	1,869	
55	耐震、制震、免震の科学	高橋俊介／監修 高層建築研究会／編著	日刊工業新聞社	978-4-528-08960-4	2012	1,575	
56	最高に楽しい木構造入門	佐藤 実	エクサナレッジ	978-4-7678-1434-6	2012	2,415	
57	力学・素材・構造デザイン	坪井善昭／著 川口菊／著 佐々木健朗／著 大崎純	建築技術	978-4-7677-0131-	2012	2,940	
58	設計不具合の防ぎ方	阪神高速道路株式会社 設計不具合改善検討会	日経BP社	978-4-8222-6640-0	2012	4,830	
59	エコハウスのウソ	前 真之	日経BP社	978-4-8222-7453-5	2012	2,100	
60	改訂版 イラストでわかる空調の技術	中井多喜雄	学芸出版社	978-4-7615-3198-0	2012	3,150	
61	谷本教授の努力すればだれにでもわかる環境システムの数理解析基礎	谷本潤	九州大学出版会	978-4-7985-0082-9	2012	2,400	
62	環境首都 北九州市	永田勝也	日刊工業新聞社	978-4-528-09060-1	2008	1,995	
63	多摩ニュータウン物語—オールドタウンとは呼ばせない	上野淳・松本真澄	鹿島出版会	9784306045811	2012	2,730	
64	唐津：都市の再編—歩きたくなる魅力ある街—	日本建築学会、編	鹿島出版会	9784306072854	2012	3,675	
62	アルゴリズム・デザイン実行系 建築・都市設計の方法と理論	渡辺 誠	丸善出版	978-4-621-08595-0	2012	3,360	
				合計	冊	合計金額	205,249

(出典 平成 24 年度 学科推薦図書 建築学科資料)

## Ⅷ 図書館情報センターの利用

図書館情報センターは、皆さんの学習を支援するための施設です。自学自習、レポートの作成等に活用してください。

### 1. 図書館の利用

#### 開館時間と休館日

平日	8時30分～20時（長期休業の期間は8時30分～17時）
土曜日	10時～15時（長期休業の期間は休館）
休館日	日曜日，国民の休日，年末・年始 （図書館情報センターホームページの開館カレンダーを確認してください。）

#### 図書・資料の閲覧

閲覧室では、閲覧室内の図書・資料を閲覧できます。書庫内の図書・資料も閲覧できますので、希望する場合はカウンターに相談してください。

#### 図書・資料の貸出

図書・資料の貸出を希望する場合は、「学生証」を添えて受付カウンターで手続きをしてください。貸出冊数は1人5冊まで、期間は2週間以内です。禁帯出ラベルが貼ってある図書以外は貸出可能です。

夏季休業等の長期休業の期間、あるいは卒研等で必要な場合は貸出期間を延長する特別貸出を行います。

#### 図書・資料の返却

受付カウンターへの返却のほか、講義棟1階の玄関に設置してある返却ボックスに入れておくこともできます。都合の良い方へ返却してください。

#### 情報検索（パソコン利用）

図書館は、閉館時間の15分前までパソコンが利用できます。

（平日は、午後7時45分まで、土曜日は午後2時45分まで利用できます。）

利用を希望する場合は、受付カウンターまで学生証を添えて申し出てください。

なお、利用には、情報教育施設で利用しているアカウントとパスワード（情報などの授業で利用しているもの）が必要です。

#### 図書検索システム（OPAC オーパック）

OPACは、図書館の所蔵する図書・資料を検索するためのシステムです。今までの検索及び図書新着案内の他に次のことが、パソコンから可能となりました。

- ・貸出・予約状況照会

貸出中・予約中図書・資料の確認・更新・取消や、貸出履歴の確認ができます。

- ・学生希望図書リクエスト

今まで紙で申し込んでいたリクエストがパソコン上から申し込めます。

- ・学生希望図書リクエスト状況照会

パソコン上で申し込んだリクエストの処理状況が確認できます。

- ・パスワード新規登録

パスワードを利用者自身で登録できます。（忘れた場合は、受付カウンターに申し出てください。）

- ・パスワード変更

登録済みのパスワードを利用者自身で更新できます。

- ・メールアドレス登録・変更・削除

メールアドレスの登録・変更・削除ができます。

- ・新着案内一図書・雑誌・AV資料

2か月前までの新着図書・雑誌・AV資料の一覧を表示します。

- ・雑誌タイトルリスト

図書館に所蔵している雑誌の一覧を表示します。

- ・ベストリーディング

本年度中によく貸出された図書・資料の一覧を表示します。

（出典 平成25年度 学生便覧 P.31-32）

## 資料 8 - 2 - ① - 7

**鳥取県立図書館及び米子市立図書館で所蔵する図書の利用**

本校図書館を通じて、鳥取県立図書館及び米子市立図書館で所蔵する図書を借りることができます。借用を希望する場合は、受付カウンターに申し込んでください。

**2. 情報センターの利用****利用できる場所**

第1 端末室・第2 端末室・第3 端末室・図書館閲覧室

このうち、第3 端末室は常時インターネット接続が可能です。情報センターの利用には、入学時に配布される情報教育端末用 ID・パスワードが必要です。分からなくなった場合は、受付カウンターに申し出てください。

**利用可能な時間**

平日 8時30分～17時

(図書館閲覧室は、開館から閉館の15分前まで)

なお、上記以外の時間に利用する必要がある場合は、情報授業担当の先生を通じて申し込んでください。

**3. 校内無線 LAN の利用について**

本校敷地内では無線 LAN を経由したネットワーク接続が可能です。無線 LAN 接続には、入学時に配布されるネットワーク用 ID・パスワードおよび無線 LAN に接続するための認証キーが必要です。分からなくなった時は、受付カウンターに申し出てください。

**4. マイクロソフト包括ライセンス利用について**

国立高等専門学校機構とマイクロソフト（株）が包括ライセンス契約を締結したことにより、本校に在籍する学生の個人所有パソコン1台に限ってマイクロソフト Office 製品および Windows 製品をそれぞれ1種類購入することができます。希望する学生は、受付カウンターで手続きを行ってください。質問も受付カウンターで受け付けます。

(出典 平成 25 年度 学生便覧 P. 33)

## 資料 8 - 2 - ① - 8

**新入生の皆さん 図書館へようこそ**

本の貸出には「学生証」が必要です。

※写真、検印のないものは利用できませんのでご注意ください。

貸出冊数：**5冊まで** 貸出期間：**2週間以内**

本を探す

本があった

借りる

カウンターへ「貸出」に行く

本と学生証を出す

探した本が貸出し中の時は、カウンターで予約ができます。返却後、入口前のホワイトボードにてお知らせするので、カウンターまでお越し下さい。

コピーをとる



コイン式コピー機  
(白黒1枚10円)  
(カラー1枚40円)

貸出手続完了

☆本の探し方☆

・分類で探す

書架に分類が置いてあります。本の探し方がわからない人は、気軽にカウンターで聞いてください。※新しく入荷した本は、入口近くにあります。

・パソコンで探す

図書館内にある検索専用PCをご利用ください。自宅等インターネットに接続しているPCなら何処からでも検索できます。

図書館では、新聞やDVDも見ることができます。(貸出はできません)

貸出できない場合

①現在、1冊でも返却延滞本がある

②学生証を忘れた

③禁帯出の本

※背表紙に赤ラベルで「禁帯出」と書いてあります。

本を返却する

返却の時は、本をカウンターに持ってこるだけでOKです。予約が入っていない場合は続けて借りることができます。延長をしたい場合は、延滞になる前「学生証」と「本」をカウンターに持って来てください。

(出典 学生課学術情報係資料)

# としょぶらり

米子高専図書館情報センター報

ISSN 1344-5634

第 95 号

平成 25 年 7 月 24 日 発行  
米子工業高等専門学校  
図書館情報センター

## 目次

図書館情報センターが 来年度新しく生まれ変わります	1
新任教員のお勧めの本	2
学生図書委員のページ	7
新着図書の紹介	8
(今井書店「本の学校」ブックハンティング) 学生図書委員一覧	9
平成24年度学生利用図書ベスト10	9
平成24年度図書館統計	10
利用状況 貸出冊数・貸出率 学生利用状況	
第1・2回文化セミナー報告	11
サハリン紀行	11
(カジブーの世界旅行 No.5)	
図書館サービスについて	12



ブックハンティングによる新着図書コーナー

## 図書館情報センターが来年度新しく生まれ変わります



校長  
齋藤 正美

米子高専の学生と教職員に朗報です。本校が長年計画していた図書館情報センターの大改修がようやく実現することになりました。現在の建物は耐震強度が十分でなく、また老朽化も進んでいましたが、来年3月末までには全く新しい建物=より安全でより快適な教育施設へと生まれ変わるようになります。たいへん嬉しく、また喜ばしい思いで一杯です。改修工事は9月頃から始まり、来年の3月末までかかります。この期間は皆さんに

たいへん不自由な思いをさせることになりますが、ぜひ我慢をお願いします(もちろん仮設の図書館と情報センターは校舎の中に設置します)。

言うまでもなく、図書館は「本という情報源を活用して自己学習を進めるところ」「学校の文化的活動の中心となる場所」であり、また情報センターは工学系の高等教育機関として不可欠の「コンピューター援用学習の拠点」となる施設です。この大改修を機に、これらの目的を十分達成できるよう、ハードウェア、ソフトウェアともに工夫を凝らし、内容の充実を図っていかねばならないと考えています。その一つとして、皆さんが「集いやすく、学習意欲が生まれる」施設となるよう、新規に「コミュニティプラザ」の設立を計画しています。これは、学生および教職員の憩いと交流の場となるだけでなく、学生

(出典 平成 25 年 7 月 としょぶらり 第 95 号 表紙)



## No.49 (目次)

[デジタル信号処理に関する学生実験テーマの開発](#)

新田 陽一 1

[Development of themes on digital signal processing for student experiment](#)

Yoichi NITTA 1

[アーチフィラメントの速度マップの作成\(第11回科学部研究報告\)](#)大脇秀捷・加川庸一・川上優太・久古貴将・富田拓也・波多野 瑠・  
林原真史・笹谷 航・田原早央莉・永見莉奈・竹内彰継 10[Velocity Map of an Arch Filament System using H \$\alpha\$  Filtergrams \(The 11th Report of the Science Club of Yonago National College of Technology\)](#)Hidehaya OWAKI/ Yoichi KAGAWA/ Yuta KAWAKAMI/ Takamasa KUGO/  
Takuya TOMITA/ Yo HATANO/ Masashi HAYASHIBARA/  
Wataru SASATANI/ Saori TABARA/ Rina NAGAMI/ Akitsugu TAKEUCHI 10[小口径望遠鏡を用いた太陽の5分振動の検出\(第12回科学部研究報告\)](#)大脇秀捷・加川庸一・川上優太・久古貴将・富田拓也・波多野 瑠・  
林原真史・笹谷 航・田原早央莉・永見莉奈・竹内彰継 14[Detection of Solar Five-Minute Oscillations using a Small Telescope \(The 12th Report of the Science Club of Yonago National College of Technology\)](#)Hidehaya OWAKI/ Yoichi KAGAWA/ Yuta KAWAKAMI/ Takamasa KUGO/  
Takuya TOMITA/ Yo HATANO/ Masashi HAYASHIBARA/  
Wataru SASATANI/ Saori TABARA/ Rina NAGAMI/ Akitsugu TAKEUCHI 14[CaK線による黒点の3分振動の検出\(第13回科学部研究報告\)](#)田原早央莉・永見莉奈・田中佐知・山根優香・永井俊一・堀江洸介・  
尾上 創・勝部桃子・竹内彰継 18[Detection of the Three-Minute Oscillations of Sunspots using CaK Filtergrams \(The 13th Report of the Science Club of Yonago National College of Technology\)](#)Saori TABARA/ Rina NAGAMI/ Sachi TANAKA/ Yuuka YAMANE/  
Syuniti NAGAI/ Kousuke HORIE/ Tsukuru ONOUE/ Momoko KATSUBE/  
Akitsugu TAKEUCHI 18[モジュラー・マルチレベルコンバータ\(MMC\)を用いた電気鉄道用パワーラインコンディショナの解析](#)

石倉規雄・アマラセーカラ オーシャダ 22

[An Analysis of the Active Power Quality Compensator using a Modular Multi level Converter \(MMC\)](#)

Norio ISHIKURA/ Oshadha AMARASEKARA 22

[角の三等分の作図可能性](#)

堀畑佳宏・柴田孝祐・竹内彩結実 26

[The constructibility of trisection of an angle](#)

Yoshihiro HORIHATA/ Kosuke SHIBATA/ Ayumi TAKEUCHI 26

[素数を法としたフィボナッチ型数列の周期](#)

小笹航平・山根映介・古清水大直・倉田久靖 37

[The periods of Fibonacci-type sequences modulo primes](#)Kohei KOZASA/ Eisuke YAMANE/ Hironao KOSHIMIZU/  
Hisayasu KURATA 37[ヤスパース『真理について』における「暗号」思想](#)

布施圭司 43

[Der Gedanke um "Chiffre" in Jaspers' Von der Wahrheit](#)

Keiji FUSE 43

(出典 米子高専研究報告 CD 目次)

## CONTENTS

[トップページ](#)
[投稿規程](#)
[利用案内 \(本校学生・教職\)](#)
[利用案内 \(一般利用者\)](#)
[蔵書検索](#)
[論文等検索](#)
[文献複写・貸借申込 \(教職員\)](#)
[図書購入申込 \(教職員\)](#)
[文化セミナー](#)
[広報誌 としよぶらり](#)
[リンク](#)

## 米子高専 図書館情報センター

〒683-8502  
 鳥取県米子市彦名町4448  
 TEL 0859-24-5028

## 米子高専研究報告 アーカイブズ

図書館情報センターでは、米子工業高等専門学校における学術研究及び調査に関する論文、資料を発表するための「米子工業高等専門学校研究報告」(ISSN 0287-7899)を年1回発行しています。

ここでは、過去に発行された、「研究報告」の目次を公開しています。

また、平成16年度発行分より、pdf化した記事全文をここで公開しています。

投稿規程は [こちら](#)

## 「研究報告」全文公開

平成16年度発行分より全文pdf化し、全文公開しています。

第46号 (平成23年 2月)

学術論文検索データベースCiNiiにて、第40号 (平成16年12月)以降の全文がご覧いただけます。

検索エンジンGoogle Scholarにヒットします。(CiNiiで全文が見られるものに限ります)

## 「研究報告」目次

過去に発行された「米子工業高等専門学校研究報告」(ISSN 0287-7899)の目次一覧です。

[第46号 \(平成23年 1月\)](#)  
[第45号 \(平成22年 2月\)](#)  
[第44号 \(平成21年 2月\)](#)  
[第43号 \(平成20年 1月\)](#)  
[第42号 \(平成18年12月\)](#)  
[第41号 \(平成17年12月\)](#)  
[第40号 \(平成16年12月\)](#)  
[第39号 \(平成15年12月\)](#)  
[第38号 \(平成14年12月\)](#)  
[第37号 \(平成13年12月\)](#)  
[第36号 \(平成12年12月\)](#)  
[第35号 \(平成11年12月\)](#)  
[第34号 \(平成10年12月\)](#)

[RETURN TO TOP](#)

## ○米子工業高等専門学校研究報告に関する要項

## (目的)

**第 1 条** 米子工業高等専門学校における学術研究及び調査に関する論文、資料を発表するため「米子工業高等専門学校研究報告」(以下「研究報告」という。)を発行する。

## (発行)

**第 2 条** 研究報告は、原則として年 1 回発行するものとする。

2 研究報告の体裁は、A 4 版、2 段横組(和文・欧文)、2 段縦組(和文)の混合編成とする。

## (投稿資格)

**第 3 条** 投稿者には本校教職員を原則とする。

## (投稿申込)

**第 4 条** 投稿を希望する者は、[米子工業高等専門学校研究報告投稿申込書\(別紙様式 1\)](#)を図書館情報センターに提出するものとする。

## (公開)

**第 5 条** 研究報告は、電子媒体によって公開する。

## (著作権)

**第 6 条** 掲載された論文及び資料の著作権は、原則として米子工業高等専門学校に帰属する。

2 著者が掲載された論文及び資料を利用する場合は、前項の規定に関わらず利用できるものとする。

3 前項の規定により著者が掲載された論文及び資料を利用する場合は、事前に[利用申請書\(別紙様式 2\)](#)を提出するものとする。

## (著者の責任)

**第 7 条** 掲載された論文及び資料の内容については、著者が一切の責任を負う。

## (投稿原稿)

**第 8 条** 投稿原稿は原則として電子データによるものとする。

2 投稿原稿の種類は、論文及び資料とする。

(1) 論文とは、学生指導を含む教育、科学技術、人文、社会分野に関する研究成果に考察を交えて記述したもの。

(2) 資料とは、学生指導を含む教育、科学技術、人文、社会分野に関する事例、調査結果、試験結果、試作等得られたデータで資料的価値を有するもの。

3 投稿原稿は、他の著作物の著作権を侵害するものであってはならない。

4 投稿原稿に、引用(転載)許諾を要する場合には、引用(転載)許諾請求処理の完了を証する書類を添付しなければならない。

5 許諾が有償の場合は著者の負担とする。

6 投稿原稿は、図書館情報センターへ提出するものとする。

## (執筆の手引き)

**第 9 条** 投稿原稿執筆の手引きは、図書館情報センター長が別に定める。

## (編集)

**第 10 条** 研究報告の編集に関することは、図書館情報センター運営委員会において行う。

## (雑則)

**第 11 条** その他必要な事項は、図書館情報センター長が別に定める。

## 附 則

1 この要項は平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

2 米子工業高等専門学校研究報告投稿要項(平成 16 年 4 月 1 日施行)は廃止する。

としょぶらり

NO.90

# としょぶらり

米子高専図書館情報センター報

ISSN 1344-5634

第 90 号

平成 23 年 1 月 14 日 発行  
 米子工業高等専門学校  
 図書館情報センター



閲覧室風景

## 目 次

### 平成 22 年（第 37 回）校内読書・エッセイコンクール優秀作品発表

読書・エッセイコンクール雑感 .....2

#### 〈読書感想文の部〉

最優秀賞	電子制御工学科	1 年	冬 樹	メロス本当に勇者か .....3
優 秀 賞	物質工学科	1 年	トクメイキボウ	『乱反射』を読んで .....4
佳 作	機械工学科	1 年	平田 光樹	『五体不満足』を読んで .....5
佳 作	物質工学科	1 年	七瀬 浩希	人間 .....5
佳 作	建築学科	1 年	カメルーン	『この世で一番大事な「カネ」の話』 .....6
佳 作	建築学科	1 年	み の	『食堂かたつむり』を読んで .....7

#### 〈エッセイの部〉

最優秀賞	物質工学科	1 年	ごんちゃん	おばあちゃん .....8
優 秀 賞	機械工学科	1 年	た け し	あの日の出来事 .....9
優 秀 賞	建築学科	1 年	がつまい2号	運命の出会い .....10
佳 作	電子制御工学科	1 年	ゆ う き	いつまでも大切にしたいもの .....11
佳 作	建築学科	1 年	ハンサム	私がいま若者として訴えたいこと .....12

1 ■

(出典 平成 23 年 1 月 としょぶらり第 90 号 表紙)

平成22年度(第37回)

**校内読書・エッセイコンクール優秀作品****読書・エッセイコンクール雑感**

国語科 永井 猛

今回の応募総数は192編、うち119編が読書感想文、73編がエッセイであった。

今年の読書感想文には、本を読んで自分ならどうするのか、どう感じたのかをしっかりと書き留めているものが多く、たくましく感じた。そんな中で最優秀賞に輝いたのは「メロスは本当に勇者か」である。太宰治の「走れメロス」の感想文だが、タイトルにある通り、なかなか挑戦的だ。文体も歯切れがよく、スピード感がある。メロスの、最初は友の命をかけているのに歌を歌ってぶらぶら歩き、その後、時間がないと泣く、この矛盾した動作を勇者らしからぬと指摘する。実は、こうした矛盾した行動は太宰作品の登場人物に往々に見られる特徴的なものだ。それを端的に指摘した点は見事だ。そして、自分の身の回りを眺めて「真の勇者」とはどういう人を言うのかと考えていく。読書を通して自分を、周りを見つめ直していく、これこそが読書感想文の意義あるところだろう。

優秀賞の『『乱反射』を読んで』も、原作の突きつける人間の醜さや愚かさを通して、自分ならどうするのかを綴っている。佳作の「人間」は、伊坂孝太郎の『魔王』を読んで、何気ない日常に流される危険性を感じ、「生きること」の意義を見つめ直すという、これもまた読書の醍醐味を伝えてくれる感想文だった。

佳作『『食堂かたつむり』を読んで』は、喪失感の淵に沈み、声を失った主人公が食べ物によって声を取り戻していく姿を通して、自分の生活を振り返る。『『五体不満足』を読んで』は、乙武さんの生き方を作り上げたのは何だったのかを探っていく。『この世で一番大事な「カネ」の話』は、西原理恵子の自伝的エッセイだが、「普通の人間であり続けるために、働いてお金を稼ぐ」という強烈なメッセージに圧倒されながら、これも自分の生き方を考えている。

エッセイの部も、しっかりと自分の身の回りを見つめている作品が多かった。

最優秀賞「おばあちゃん」は、遠い出来事と思っている死が突然やってくる、その信じられない思いを迷いのまま書き留めていて共感を呼ぶ。

優秀賞「あの日の出来事」は、バイクが便利な乗り物から凶器へ変貌する、その様子を的確に描写し、誰にでも起こり得る恐怖をリアルに伝える。優秀賞「運命の出会い」は、愛猫との運命的な出会いを綴り、ほのほのとした思いに誘う。佳作「いつまでも大切にしたいもの」からは、一番好きな空を、いつまでも美しいままで眺めていたいという思いが伝わってくる。佳作「私がいま若者として訴えたいこと」は、現在の若者のマイナス面として指摘されることにも種々の理由があり、そういうことへの配慮を訴えている。

自分の思いを言葉にするのは至難の技だが、入賞作品を参考にして自分なりの表現方法をつかんでいってほしいと思う。

